

2025年10月7日（火）

臨時理事会

会議資料

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

第 1 号議案

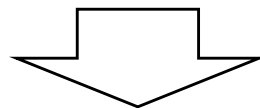
「大屋根リングの活用に関する検討会」の
結論を踏まえた対応の件

「大屋根リングの活用に関する検討会」の結論を踏まえた対応について

【大屋根リングを原型に近い形で活用するための残置の在り方について(抄)】

- ・市がリングを引き受けることが可能となるまでの間、協会は、調査時点よりリングの部材の状態の低下を抑制するための適切な改修及び維持管理(会場建設費の使用目的の範囲内に限る。)を実施する。
- ・残置の選択肢としてきた3期区域部分の南西約350mについては解体するが、部材リユースの需要が増加していること、持続可能性の観点から最大限リユースを実施することが望ましいことに鑑み、供給量と会場建設費の制約の範囲内で可能な限りリユースを実施する。

- ✓第2期リユース公募の際には、出品量(約1,500m³)を超える応札  需要量の増加
- ✓南西部約350mは残置しない(=リユース可)  供給量の増加
その他の工区で追加供給



・大屋根リングの保全措置の実施<必要額精査中>

・第3期リユース公募の検討 <出品量最大約1,300m³>

※ 大屋根リユースについては、第1期公募分は会場建設費2,282億円内で措置済。
第2期公募分は、一定分を予備費可能性有として6月理事会で諮問済。

「大屋根リングの活用に関する検討会」の結論を踏まえた 対応について

【諮問事項】 下記について会場建設費執行が必要となるため、了承を求めるもの。

「大屋根リングの活用に関する検討会」の議論を踏まえ、

①残置に係る保全措置

②更なるリユース需要への対応

} を実施するもの

当該事由を会場建設費で負担するにあたって、必要額の精査や他事業の執行残も充当しながらできる限り**2,282**億円に収まるよう努めるものの、追加の予備費執行※の可能性が生じることから、この点をご了知いただきたい。

※ 予備費は当初**130**億円計上していたところ、**2024.12**に公式参加国出展形態への対応・メタンガス対策に伴い**62**億円を執行承認済で、現時点の残額は**68**億円。

報告事項 1

会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件

2025年10月7日
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

会長	十倉 雅和
事務総長	石毛 博行
副事務総長	小野 平八郎
副事務総長	高科 淳
副事務総長	東川 直正
副事務総長	田中 清剛
副事務総長	櫟 真夏
副事務総長	水谷 徹

職務執行状況報告書

この報告書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項及び定款第22条第3項の規定に基づく代表理事及び代表理事以外の業務執行理事の自己の職務の執行の状況に関する報告であり、報告事項は下記のとおりです。

記

1. 事業活動の概況
2025年度事業活動概況報告書（第1回）のとおり
2. 事業及び経理上生じた重要事項
該当なし
3. 重要な組織の活動状況
該当なし
4. 理事会の決議事項のうち特に重要な事項の経過
該当なし

以上

2025年度事業活動概況報告書 (第1回)

自 2025年4月 1日
至 2025年8月31日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
2025 年度 事業活動概況報告書（第 1 回）
（2025 年 4 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日まで）

1 安全安心かつ円滑な会場運営と来場者輸送の実現

（1）テストランの実施

- ア テストランは、開幕前に実際に会場を運営し、課題の発見・改善につなげる取り組みとして 4 月 4 日～6 日に実施する
開幕前に実際に会場を運営し、課題の発見・改善につなげる取り組みとして 2025 年 4 月 4 日～6 日にテストランを実施した。3 日間で合計約 10 万人が来場した。

（2）開閉会式の開催

- ア 開会式は、大阪・関西万博の開幕を祝う式典として、開幕前日の 4 月 12 日に、閉会式は、大阪・関西万博の閉幕を祝う式典として、閉幕日の 10 月 13 日に開催する
開会式は、開幕前日の 4 月 12 日に開催し、関係者約 1,300 名が出席した。閉会式は、閉幕日の 10 月 13 日に開催予定であり、準備を進めている。

（3）会場の維持管理

- ア 会場内施設等の維持管理に関する発注及び撤去、維持管理及び撤去業務の実施
完成引渡しを受けた施設から順次維持管理（巡回、点検、植栽管理等）業務を開始した。2025 年 1 月 6 日から管理本部中央棟施設管理事務所に業務受託事業者が常駐し、業務を実施した。
大屋根リング屋上緑化の維持管理を 2025 年 3 月 1 日から実施するため、2 月 20 日から管理本部中央棟施設管理事務所に業務受託業者が常駐し、業務を開始した。
緊急執行運用ガイドラインに基づき緊急指示を行い、16 件の契約を締結した。

イ 環境影響評価書・事後調査計画書に基づく事後調査の継続実施

公表済みの事後調査計画書に基づき、建設工事中における工事関連車両や廃棄物発生量等の状況を調査し、その調査結果を事後調査報告書（その 3）としてとりまとめ、2025 年 8 月 15 日に公表した。

（4）来場者輸送対策の実施

- ア 万博来場者の安全・円滑な移動の実施及び働きかけ TDM の実施
2024 年に設置した「来場者輸送対策協議会 輸送対策部会」について、2025 年 5 月 28 日に第 1 回を開催し、7 月 17 日に同部会（第 2 回）、8 月 25 日に同部会

(第3回)を開催し、開幕後の輸送実績、来場者輸送等の状況等について報告し、来場者の増加が想定される終盤期に備えた桜島駅シャトルバスや P&R シャトルバスの運行計画等について、学識者及び関係者と意見交換を行った。

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議において、万博TDMの取組として、2025年6月1日から6月30日の平日に、交通混雑の緩和を図るため、時差出勤等の実施による一般交通への交通混雑回避にかかる働きかけを行うとともに、6月1日から7月18日の間、協会職員、咲州庁舎及びATCの府市職員についても、時差出勤等による出勤抑制を実施した。

また、混雑が想定される終盤期に向け、さらなる万博TDMの機運醸成や理解促進など、8月18日からの万博TDMの取組について、広報・周知を実施した。

(5) 会期中における万博ICTシステム及び万博通信インフラの運用

ア 万博IDを管理するICT-PFシステムを安定的に運用する

日々の運用管理により、安定的な運用を行っている。パビリオン・イベント予約の集中アクセスに伴うつながりづらさについても、入場券システムと連携しながら改善対応を行った。

イ データ利活用参加者サービスの安定運用および可視化したデータの情報提供を行う

2025年4月13日の開幕より、すべてのデータ利活用サービスについて提供を開始した。また、開幕以降、入場者数など万博運営のデータの見える化（ダッシュボード化）を行い、日々運営改善に利用している。

ウ 会場内ネットワークの運用及び監視を確実に実施する

開幕日(4月13日)に東ゲートにおいて、携帯通信がつながりにくかった事象に対して、携帯事業者と連携し、移動基地局車の配備および周辺基地局の増強を行って解決した。また、会場内ネットワークも日々監視を行っており、安定的な運用を行っている。

エ 会場内での無線機利用に関して、効率的な周波数利用及び良好な電波利用環境の維持管理を行う

無線機利用については、法令に定める技術基準や免許手続きが行われていることを審査し、それらのうちワイヤレスマイク等については、運用に支障がないように関係者と周波数調整を行った。

また、電波監視による違法無線局の探査などを実施し、法令に定める電波の利用や、技術基準に適合しない無線機に対しては法令適合無線機への交換指示等の法令遵守に努めた。

オ バーチャル万博会場の催事や配信などの円滑な運用を実施する

2025年4月3日にバーチャル万博アプリのリリースを行い、世界中の人々からの万博参加を実現した。開幕以降、ナショナルデーなどのライブ配信のほか、展示コンテンツや機能改善を行い、サービス品質の向上に努めている。

(6) 会期中におけるサイバーセキュリティ対策

ア 会期中の各システムの安心・安全な運用に向けて、サイバーセキュリティ対策を協会内外と連携して実施する

2025年4月13日の開幕より、国家サイバー統括室（NCO）及び大阪府警察本部も夢洲に常駐し、サイバーセキュリティオペレーションチームの運用を開始した。サイバーセキュリティに関する脅威情報、インシデント情報等の共有を頂き、運用強化に取り組んだ。

(7) 会場運営の円滑な実施

ア 来場者サービスやサービス施設、サービス提供の実施

東西エントランス広場で来場者に対して、案内、誘導、着券等を始めとする適切な入場オペレーションや暑熱対策などの必要な来場者サービスを実施した。

各案内所・休憩所、アクセシビリティセンター、忘れ物センター、迷子／ベビーセンターを適切に運用し、来場者サービスを提供した。

イ 情報提供サービスの実施

2025年4月より夢洲会場内の「情報制御センター」において、EXPO 2025 Visitors、デジタルサイネージ、会場内放送などのツールを活用し、来場者向けの情報発信を行った。

EXPO 2025 Visitors は、来場者のニーズを踏まえ随時アップデートを実施し、5月には予約不要のパビリオンを確認できる地図機能を、7月末には給水所や休憩所を検索できる機能を追加するなど、利便性と満足度の向上に努めた。

デジタルサイネージでは、日英両言語で会場内情報やイベント一覧を表示し来場者の周遊を支援するとともに、必要に応じて雷に伴う規制情報などの緊急案内も掲出し、安全な会場運営に寄与した。

会場内放送については、関係部局と調整のうえ、入場待機列への案内放送、暑熱に関する注意喚起、閉場時の帰宅促進など、円滑な会場運営に必要な情報提供を行った。

さらに、協賛事業である EXPO 2025 Personal Agent、自動翻訳システムの運用や問合せ対応も行い、デジタルツールを活用した来場者サービスを展開した。

ウ ユニバーサルサービス実施

東西アクセシビリティセンターで車いす等の備品の貸出の実施や遠隔手話通訳サービス等のサポートツールの活用により、配慮が必要な来場者に対して、安心安全に万博を楽しんでいただけるようサポートした。

エ ボランティア活動の管理・運営

2025年4月13日からボランティアによる来場者の案内・歓迎活動や来場者サービス施設の運営補助活動を開始し、開場時のお出迎えや開場時間中の各種ご案内、閉場前のお見送り、車椅子やベビーカーの貸出等補助、医療救護施設及びリユース食器回収拠点の運営サポートを実施した。毎日、朝・昼・夜の3シフトの活動とし、1日あたり延べ400人程度が活動した。

オ AD 証の発行および関係者ゲート（AD 証認証）の運営

2025年4月1日から、関係者ゲートにおけるAD証認証機器（顔認証・QR認証）を開始した。

開幕直前および直後に集中したAD証発行について、印刷工場を24時間フル稼働させるなどの対策を行い、遅延なく、AD証の発行・受渡しを実施した。

AD証登録システム、関係者入退場システムの大規模な停止もなく、順調にAD証の発行・受渡しやゲート認証を継続して実施できた。

カ 清掃・廃棄物処理等、会場管理の実施

廃棄物管理業務では、2025年4月1日から分別・計量された各廃棄物の従量制による処理費用の負担を開始した。また、テストラン等で清掃・廃棄物管理業務の実践的な運営準備を進め、会期中においても3Rステーション（来場者のごみ回収場所）を移設するなど新たな課題に対応し、業務運営のより確実かつ円滑化を図った。

キ 営業施設の運営と事業収入の確保

期間を通じて、営業施設の事業者と店舗運営に関する協議を実施した。

2025年4月13日から7月にかけて順次開店し、7月18日には全ての営業施設（70店舗＋キッチンカー30台）が開店した。また、5月28日から8月27日にかけて店舗責任者へ向けた会期中の運営に関する説明会を計4回実施した。さらに、8月18日には、閉幕後の撤去・解体に関する説明会を実施した。

ク 場内輸送の実施

e Moverについては、2025年4月4日～6日でテストランを実施し、4月13日より6停留所を擁す外周道路での来場者輸送を実施し、1日5,000～7,000人が乗車している。EVバスは3台の自動運転、20台の手動運転を常時運行している。

パーソナルモビリティについては、主に高齢者・長距離歩行が困難な方を中心に、東・西貸出所においてパーソナルモビリティの無料貸出を２０２５年４月１３日から７月３１日まで実施した。東西合わせ１５０台を保有し、１日に２４０人に貸出を行った。８月１日からは、東西貸出所前における試乗会、および場所を限定した移動体験会に変更。歩車混同の未来の交通システムを実証中。

東西シャトルバスについては、西ゲートの稼働率を上げる目的で、２０２５年７月１日より東ゲートから西ゲート付近まで未入場の一般来場者を輸送するサービスを実施している。８：３０から１１：３０の間で大型ＥＶバス３台、小型ＥＶバス２台で１,５００人/日程度を輸送している。

ケ 物流の円滑な実施

車両の入退場を管理するシステムについて、２０２５年４月１日から本格稼働を行い、車番読取カメラによる入場可否の判定とサイネージ表示による運用を開始した。

宅配便セキュリティセンターについて、３月１日から当センターを経由する運用を行い、４月１日からセキュリティチェックを開始した。

(８) 会期中の危機管理体制の運営

ア 会場警備対策

２０２５年４月１日からは、会期前Ⅲ期警戒として施設警備隊等の増強配置を行い協会管理施設等の警備を進め、開幕直前の４月１０日には警察等の治安機関と連携して最終的な会場内の安全確認を実施した。

開幕日以降は、施設警備隊に加え、来場者ゲート隊、会場警備隊、イベント警備隊の４隊、最大１日２,０００名の体制で警戒を行い、会場内の安全確保・秩序維持に努めている。

イ 災害対策

２０２５年４月１日に、大地震発生を想定した総合防災訓練を、大阪・関西万博消防センター・大阪府警察会場警察隊・自衛隊・海上保安庁との共同で３部構成で実施し、開幕までに会場内３か所の備蓄倉庫に、大規模災害時の一時滞在を想定した９０万食分の水・食料などの備蓄が完了した。

４月２５日に「災害・事故対応マニュアル」を発出し、会場内での災害・救急対応について改めて関係者への周知を図った。(津波、台風を受け８/２９に改正)

常時気象情報を監視することにより、雷、強風等の気象の変化に応じて来場者の立入り規制を行う等の安全対策を実施している。

ウ 医療救護対策

危機管理センターで勤務する統括医療責任者(CMO)を中心に、会場内の3診療所、5応急手当所に医師、看護師、クラーク、救護隊を配置して、日々発生する傷病者の手当・診察、場外搬送手続を実施している。

2025年4月22日からは、週1回統括医療責任者(CMO)会議を実施して適切な医療救護活動について検討している。

また、医療救護協議会の構成員を対象に、6月23日、8月26日に医療救護報告会を開催して医療救護体制の概況を報告し関係機関への協力を求めた。

エ 会場衛生対策

参加者を対象として日英2か国語の動画視聴による環境衛生講習会(2回)と食品衛生講習会(4回)を開催した。

また、感染症の発生状況を探知するため、医療救護施設の診療概況および関係従事者の健康管理情報(発熱、呼吸器・消化器症状等)を日々収集し、大阪・関西万博感染症情報解析センターへ報告しているほか、環境衛生及び食品衛生に関する把握事案については、会場衛生監視センターと共有している。

2025年6月21日に神奈川県在住の麻しん患者の来場が判明した際には、大阪市保健所の指導のもと利用施設等の関係従事者に対して健康観察を実施した。

オ 危機管理センターの運用

各種マニュアル等を整備し、火災・救急、事件・事故、各種トラブルの通報に対し、協会警備隊や協会救護隊を派遣するオペレーション業務や、気象変動に応じた会場内の安全確保措置を実施した。さらに効率的かつ効果的なオペレーション業務を行うため、業務手順や設備や情報共有方法の不断の見直しを図っている。

また、2025年4月24日より隔週で公式参加者向けのセキュリティブリーフィングを実施し、傷病者や事件事故の発生状況等を説明し、疑問点、不安感の解消に努めている。

8月13日に発生した大阪メトロ運行停止における帰宅困難者対策としては、会場内に備蓄していた飲料水を残留来場者に配布した。

カ 事業リスク対策

会場内での来場者の傷病事故発生に伴い、協会各局が迅速に対応できることを目的とし、協会内横断のチームを組成した。

(9) 迎賓・接遇の実施

ア 賓客接遇の実施

2025年4月11日～12日に開会式御臨席、同会会場御視察のため、天皇皇后

両陛下・秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎した。開幕以降も皇室のお成り、国内賓客（貢献企業含む）、海外賓客（ナショナルデー・スペシャルデーの賓客含む）の会場来訪に合わせて毎日接遇を実施した。

（参考）

皇室：29 件

国内賓客：337 件

貢献企業（寄付・協賛企業）：306 件

海外賓客：251 件

ナショナルデー・スペシャルデーの賓客：127 件

イ 迎賓館運営の実施

開幕前に行われたテストランでは午餐会・晚餐会で提供する食事の試食会・配膳などのサービス訓練など本番を想定したシミュレーションを行った。

2025年4月14日からナショナルデー・スペシャルデー開催に伴う公式参加者代表团、日本側招待者に午餐会・晚餐会での飲食提供など接遇を行った。

ウ 賓客利用施設日本館・ND ホールとの連携実施

2025年4月5日にナショナルデー・スペシャルデーにおける公式式典時の賓客導線や国旗掲揚の動作確認など ND ホール側と半日リハーサルを行った。

4月13日より日本館・ND ホールと連携し、賓客接遇のため事前調整及び当日対応など密に連携し接遇を実施した。

エ 賓客の警護体制を危機管理局と連携し実施

2025年4月上旬に VIP ゲート運用方法及び会場内踏切の運用ルールについて打合せを複数回行い、情報の共有方法及び運用方法を検討した。

警護対象者を中心に会場内での移動時やパビリオン訪問での警護を事前に資料等連携し実施した。

（10）公式参加者への対応

ア 万博の実施に当たり、博覧会国際事務局（BIE）と連絡・調整を行う

2025年4月28日に博覧会国際事務局（BIE）の情報コミュニケーション委員会、同29日に執行委員会、6月17日には総会がフランス・パリにおいて開催され、櫛副事務総長から出席者に対して大阪・関西万博開幕後の状況を説明した。

また、会期中会場に常駐しているBIEのテクニカル・アドバイザーと日々連携のもと公式参加者の円滑な出展運営をサポートするとともに、4月及び5月のBIEケルケンツェス事務局長の訪日機会を活用し、同氏と十倉会長、石毛事務総長等との間で意

見交換を行った。

イ 公式参加者宿舎を運営し、入居する公式参加者を支援する

賃貸借契約締結国・機関、途上国支援プログラム対象国、その他万博関係機関の入居者受け入れを行うとともに、新たな宿舎利用申込に対して賃貸借契約を締結した。また、入居者からの宿舎に関する様々な要望に対応した。

ウ 公式参加者支援のためのワンストップショップ（OSS）の運営を軸に、公式参加者に寄り添った形での運営支援を実施する

公式参加者から運営に関する相談を一元的に対応すべく、2025年2月から OSS センターを管理棟西棟1階で運営。飛び込みでの来訪も多く、4～8月で約6,000件の相談があった。開幕前後は特にAD証や車両入場、商業活動に関する相談が多く、その後は社会保障関連の手続きに関する問い合わせが増えている。査証についても4月は1,000件以上の申請をサポートしており、その後ピークは過ぎたものの更新等にも対応している。

（11）公式参加者への展示・運営支援

ア 公式参加者パビリオンの展示・運営及び会期後の撤去がスムーズに行われるよう支援する

展示・運営のために必要な建物維持管理の支援（毎日の場内巡回・安全指導（転倒防止、飛散防止）、及び2025年6月から7月にかけて万博消防センターと消防立ち入り検査を実施）を行うとともに、途上国支援の受託事業者により運営及び展示造作物等の保守維持を行った。

また、閉幕に向けて4月に解体工事に関するアンケートを実施し、7月には解体仮設計画について照会をおこなった。8月には途上国支援対象国に向けた展示品の積戻し相談窓口を設置した。

（12）事務局体制の整備・強化

ア 会期中、閉幕後の運営体制の構築

会期中の運営体制については、2025年1月より段階的に移行を開始し、同年4月1日をもって会期中体制へ完全移行した。

また、閉幕後の運営体制については、協会内調査を行うなど検討を開始した。

イ 会期中、閉幕後の運営に適した人員配置

会期中の人員配置については、2025年4月の開幕に向け増員を図るとともに、会期中の運営体制の移行に合わせて人員配置の最適化を図った。

また、閉幕後の人員配置については、協会内調査を行うなど検討を開始した。

ウ 会期中のコンプライアンスの徹底

2025年4月30日に会期中の個人情報の適正な取り扱いの留意事項等をまとめた「コンプライアンス通信」の作成、協会内周知を行った。

会期中に生じた各種相談等については、法務相談等も活用しつつ解決に向けた取り組みを進めた。

2 さらなる広報・プロモーションによる集客活動の展開

(1) 戦略的PRの継続実施

ア 各種メディアを活用した広報の継続実施

開幕直前の「メディアデー」、「開会式」や開幕日を中心に、多くのメディア（「メディアデー」は約4,500人のメディア関係者が参加）による取材対応を行い、大阪・関西万博について国内外に向けて広範な情報発信を実現した。開幕後も各種コンテンツやイベント情報など万博の魅力について情報発信を行い、全国紙、テレビの全国放送、万博を特集したMOOKなど、非常に多くのメディアに取り上げていただき、入場チケットの販売促進、来場者数の増加につなげた。また在日海外メディア、各国ナショナルデーに合わせて来日する海外メディアに対し、万博情報や取材しやすい環境を提供し、海外に向けた魅力発信を実施した。

（参考）『情報発信を実施した主な事業』

シグネチャーパビリオン合同取材会（2025年4月3日）

テストラン（4月4日～6日）

TGC in 大阪・関西万博2025（4月5日）

メディアデー（4月9日）

開会式・NHK全国生中継（4月12日）

開幕日（「1万人の第九EXP02025」「オープニングセレモニー」など）（4月13日）

NHK関西ローカル「ぐるっと万博お昼前」（4月～毎週金曜日）

日本テレビ「有吉の壁」（4月16日）

「EXP0 2025 LDH DAY SPECIAL “Jr. EXILE LIVE”」（4月29日）

欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞グランドチャンピオン大会（5月6日）

マガジンハウス・Casa BRUTUS 6月号「万博と建築」（5月9日発売）

ブラスエキスポ2025（5月11日）

フジテレビ「ネプリーグ」（6月9日）

Walk the Talk for SDGs in EXP02025 UN&YOSHIMOTO（6月15日）

ぴあ・大阪・関西万博ぴあ 完全攻略編（6月27日発売）

来場者数 1,000 万人達成記念セレモニー（6月29日）
国内パビリオン「セタ」イベント（7月1日～7日）
ジャパNDER（7月3日）
大屋根リング盆踊り（7月28日）
にっぽんど真ん中祭り（8月2日～3日）
「大相撲大阪・関西万博場所」（8月3日）
ウクライナ ナショナルデー（8月5日）
来場者数 1,500 万人達成記念セレモニー（8月6日）
平和と人権ウィーク・協会主催プログラム「アジェンダ 2025」被団協登壇（8月12日）
U-NEXT MUSIC FES（8月12日～17日）
フジテレビ・サザエさん（8月24日）

イ メディアセンター、サテライトスタジオ及び会場内放送設備の運用・活用の推進

2025年4月よりメディアセンター、サテライトスタジオ及び会場内放送設備の本格的運用を開始した。

開幕後は、平日は毎朝メディアセンター記者会見室にてメディアブリーフィングを行い、ナショナルデーや主要イベント等の情報提供を行った。また、毎週1回（原則、月曜日）に事務総長もしくは副事務総長による定例記者会見を実施した。これらは、日英・英日の同時通訳にて実施した。

サテライトスタジオは、在阪6テレビ局が使用しているが、各局が番組生放送を実施するほか、会場内中継時の拠点として活用している。また、会場内に設置した中継盤、中継車盤も、コンサートやイベント等の規模の大きな中継・収録に使用され、全国規模の情報発信に貢献している。

6か所設置した会場ライブカメラからは、開幕時より24時間配信を実施。メディアが映像を利用するほか、多くの来場者や関係者が当配信を視聴し活用されている。

ウ 公式 Web サイト、公式 SNS 等での多言語展開による国内外への情報発信

公式 Web サイトでは、お客様向けの情報をより分かりやすく目立つようにするためのトップページメニューバーの改善や、ギネス認定に合わせた大屋根リングのページ、来場者への情報提供を充実した「今週の万博」の掲載、パビリオンの紹介、万博の様々なトピックスやND・SDの情報等を記事として紹介する公式ブログページを新設。また、公式 Web サイトの多言語翻訳（日・英・中（繁・簡）・韓・仏・スペイン語）機能を導入するなどし、国内外へ万博の魅力を発信した。さらに、万博 ID 登録、入場チケット購入、来場予約など、お客様からいただいた声をふまえた分かりやすく解説する記事を掲載するなど、来場者に向けた情報提供を行った。

公式 SNS では、X、Instagram、Facebook を中心に会場の盛り上げを伝えるために一日のイベントのハイライトや、ND・SD の様子をまとめた動画、その日の象徴的なシーンを切り取った BEST PHOTO 等、また暑さ対策やニュース性のあるイベント等の情報を日・英の 2 言語でタイムリーに投稿した。これにより国内外への広範な情報発信と公式 SNS フォロワー数増も実現した。

エ 海外広報・プロモーションの継続実施

1. 海外メディア・インフルエンサーの AD 証発行、海外露出強化に向けた取材対応

- ① 2025 年 4 月 1 日～海外メディア（報道、フリーランス、インフォメーション）の AD 証発行手続きおよび受け渡しを開始し、現在も継続して対応している。海外メディアの AD パスは海外メディア・プロモーションチームが直接会場で手渡するフローで対応中。公式参加国と連携して各国メディアの緊急 AD 証発行等も連携してサポート（7 月末時点で 1,657 枚を発行済み）。

また、メディアポータルへの海外メディアの登録のサポートを実施し、取材用の万博のコンテンツを提供している。

- ② 2025 年 4 月 9 日の「メディアデー」に寄り多くの海外メディアに参加頂くため、事前に広く周知。当日来場したメディアの取材サポートや取材依頼に対応した。
- ③ 2025 年 4 月 12 日「開会式」に招待した海外メディア、およびオープニング以降に万博会場に来訪した海外メディア・インフルエンサーについては取材サポート（パビリオンやイベントの予約と取材の同行等）やインタビュー等取材対応を積極的に実施。現在も継続して海外メディア対応を実施。
- ④ 2025 年 5 月より海外メディア・公式参加国向けに週報のニューズレターを送付し、メディアの関心が高いイベント等を案内して取材機会を増加した。
- ⑤ 2025 年 4 月 13 日の開幕日より、ナショナルデー及びスペシャルデーを取材する海外メディアの公式式典出席やパレード、イベント等の取材サポートを実施した。

2. 在外日本公館、JNTO、ジャパンハウス等による海外施設における万博 PR を実施

2025 年 3 月末からミャクミャクの着ぐるみを中国（上海大阪府事務所）、欧州（在英日本大使館）、米国（在ワシントン DC 大使館等）にて常駐させ、4 月以降の在外公館主催の各種万博 PR イベントに活用頂いている。また 5 月からは米国のミャクミャクをブラジルのサンパウロに移し、サンパウロのジャパンハウス内の大阪・関西万博常設展にて活用されている。

3. 国内の国際イベントにおける万博 PR

2025 年 8 月 20 日～22 日横浜開催の TICAD9 にて、万博 PR ブースを出展しミャクミャクによるグリーティングを実施した。

オ 自治体や関係団体等と連携したプロモーション活動の推進

万博開幕以降、全国の市区町村長、地方議会議員及び地方経済団体による視察団の来訪時に受入サポートを行っている。また、関係者の更なる来場促進を図るため、視察団来訪時に万博概要の説明、見どころや魅力発信を行っている。

さらに、2025年5月12日～14日に会場内のEXP0サロンで「自治体職員・議員向け研修」を開催し、地域における万博活用の好事例を紹介する等、開催効果の全国への波及や関係者の来場促進に努めた（391名参加）。

カ 意義のある万博教育旅行実施に向けた情報提供・受け入れ準備

2025年4月5日・6日に「テストランを活用した教育旅行の下見」を実施し、約12,000名の教育旅行関係者等が参加した。

4月初旬に団体受入マニュアル（引率の手引き）を発行し、8月に更新を行った。

学校団体のパビリオンの割り付け、団体休憩所の手配（小学校等）を自治体と連携して行い、会場での受け入れを行った。

6月25日に大阪観光局主催の教育旅行セミナーに参加し、訪日教育旅行取扱旅行会社に対して説明会を行った。

キ 万博を契機とした日本全国の観光推進

「万博を契機とした観光推進ネットワーク会議」本会議を2025年4月24日に会場内にて実施。万博HPや観光ポータルサイトへの流入促進策、当サイト掲載商品の販売促進策等、各構成員と連携した取組について情報共有と意見交換等を行うなど、観光団体・事業者等と連携した万博プラス観光の取組を継続して推進した。

また、会場内のサイネージ等での観光情報の発信、西のゴールデンルートとの共同記者会見、観光ポータルサイトとデジタルウォレット事業との連携などを通じて、万博を契機とした全国への観光誘客策を実施した。

（2）機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

ア ミャクミャクの活用（来場者撮影スポット・事務局の運営など）

開幕以来、会場内でミャクミャクハウスを営業している。なお当初の営業時間「10時～19時」を、2025年7月1日から「10時～21時」に延長した。

ミャクミャクのレギュラー出演は、開幕当初は「サントリー屋外イベント（水上ショー）」「デジタルウォレットパーク」「ミャクミャクハウス」の3事案であったが、7月1日より「会場内グリーティング」、8月1日より「大阪ヘルスケアの夜イベント」が追加された。

その他適宜、会場内での各パビリオンやイベントへのミャクミャク派遣を行った。

イ 会場内外オフィシャルストアの運営

●会場外

開幕後も会場外オフィシャルストア（4店舗、累計23店舗）、ポップアップストア（2カ所）を新規展開した。

●会場内

現状、会場内オフィシャルストア6店舗、オフィシャルストアサテライト13店舗を展開している。開幕後も、来場客増加や暑熱・雨対策等に対応するため、事業者と協議しオフィシャルストア店舗を適宜増加させている。

4/13～ オフィシャルストア4店舗営業開始（東ゲート2店舗、西ゲート2店舗）
サテライト4店舗営業開始

（休憩所2、トイレ5、シャインハット前、静けさの森北側）

5/2～ サテライト1店舗営業開始（柱番号51）

5/22～ サテライト1店舗営業開始（柱番号43）

6/18～ サテライト2店舗営業開始（柱番号46、58）

6/23～ オフィシャルストア1店舗営業開始（フェスティバル・ステーション）

6/26～ サテライト1店舗営業開始（柱番号1）

6/27～ サテライト1店舗営業開始（柱番号37）

6/28～ サテライト2店舗営業開始（柱番号63、68）

6/30～ サテライト1店舗営業会社（柱番号11）

7/18～ オフィシャルストア1店舗営業開始（風の広場）

ウ アンバサダー、スペシャルサポーターや公式テーマソングを活用した機運醸成活動の実施

- ・2025年4月4日～6日、9日のテストランおよびプレスデーにおいて、アンバサダーやスペシャルサポーターに万博を体験いただき、各種 SNS 等で情報発信を行った（山中伸弥、ぺえ、NMB48、青木崇高、imma、くまモン、伊原六花、はるな愛、ゆうちゃみ・ゆいちゃみ）。
- ・4月16日～6月13日まで、大阪メトロ中央線の子ども専用列車で公式テーマソング「この地球の続きを」が車内 BGM として放送された。
- ・4月17日、万博会場内で撮影を行った公式テーマソングの MUSIC VIDEO「この地球の続きを～EXP02025ver～」を公開した。
- ・4月29日、LDH に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。
- ・5月21日、高橋藍に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。
- ・6月5日、松本幸四郎に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。
- ・6月6日、NMB48 に浴衣で万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。

- ・ 7月3日、青木崇高、はるな愛に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。
- ・ 7月7日、青木崇高に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。
- ・ 7月28日、山中伸弥に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。
- ・ 7月28日、QuizKnock が万博を紹介する YouTube を公開し、あわせて協会 HP に万博を楽しむデジタルパンフレットを公開した。
- ・ 7月29日、青木崇高とのアートプロジェクトに関して、閉幕後に万博レガシーとして展示いただける事業者の公募を開始した。
- ・ 8月1日から、大阪メトロ中央線(全車両)で公式テーマソング「この地球の続きを」が車内 BGM として放送された。
- ・ 8月7日、imma に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。
- ・ 8月8日、伊原六花に万博を体験いただき、SNS で情報発信を行った。

エ 協会 IP（ロゴマークやキャラクター等）を活用したライセンス事業の展開
公式ライセンス商品の契約・製造・販売促進および OMD コラボ商品の交渉・製造・販売等のライセンス事業展開を適宜実施している。

オ 広報・プロモーション協賛などによる万博 PR の拡大
開幕前までの万博 PR に加え、下記の PR を追加で実施した。

- ・ 2025 年 4 月 1 日～10 月 13 日まで、INFO RICH 社との協賛により、市中で展開されているモバイルバッテリーシェアサービス「Charge SPOT」のサイネージ媒体において、万博 PR を行った。
- ・ 7 月 1 日～9 月 30 日まで、上海吉祥航空との協賛により、同社のホームページやアプリ、機内誌等の広告媒体で万博 PR を行った。

カ 「TEAM EXPO 2025」プログラムの推進
開幕日（4 月 13 日）にあわせ「TEAM EXPO 2025 MEETING」 in 大阪・関西万博を開催した。
また、閉幕日（10 月 13 日）に実施する「TEAM EXPO 2025 MEETING」での表彰に向け、アワード施策（「みんなで選ぶ！TEAM EXPO」をオンライン・会場内で実施した。
〔「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録数〕
共創チャレンジ 2,334 件、共創パートナー 426 団体（2025 年 3 月 31 日時点）

キ 「TEAM EXPO パビリオン」の運営
開幕から 8 月末までにおいて、ステージに約 170 件、展示で約 200 件の共創チャレンジの参加があった。また、運営コンセプトである「つながる万博」の実現に向け、交流イベント「ミライ×未来ソーダ」を 129 回実施した。

フューチャーライフヴィレッジへの来館者100万人達成セレモニーを2025年8月7日に実施した。

(3) シグネチャープロジェクトの発信

ア 会期中のシグネチャーパビリオンの運営や接遇を確実に実施、また、シグネチャーイベントを計画通り実行することで、来場者に対して万博のテーマについての深い理解を促す

シグネチャーパビリオン8館の運営を行うとともに、皇室などの接遇を実施した。また、シグネチャーイベントとして各種イベントを12回実施した。

(参考)

〔接遇関係：皇室関係のみ抜粋〕

2025年5月9日に愛子内親王殿下のEARTH MARTへのお成りがあった。

5月14日に三笠宮彬子女王殿下のいのちめぐる冒険へのお成りがあった。

5月20日に高円宮妃久子殿下のいのちの未来・いのちの遊び場クラゲ館へのお成りがあった。

5月22日に彬子女王殿下のいのち動的平衡館・いのちの未来・EARTH MARTへのお成りがあった。

6月14日に高円宮妃久子殿下のDialogue Theater - いのちのあかし - ・EARTH MARTへのお成りがあった。

6月15日に高円宮妃久子殿下のnull²へのお成りがあった。

7月3日に秋篠宮皇嗣同妃両殿下のDialogue Theater - いのちのあかし - へのお成りがあった。

7月23日に高円宮妃久子殿下のいのちめぐる冒険へのお成りがあった。

8月21日に承子女王殿下のいのち動的平衡館といのちの遊び場 クラゲ館へのお成りがあった。

〔シグネチャーイベント〕

テーマ事業8館合同のシグネチャーイベントとして、4月13日にEXPO ナショナルデーホールにて「シグネチャーオープニングイベント」を実施した。

石黒プロデューサーが、4月19日にEXPO アリーナにて「FUTURE OF LIFE いのちの未来オープニングイベント」を実施した。

宮田プロデューサーが、5月14日・15日にEXPO アリーナにて「EXPO 共鳴フェス『人間響命祭』」を実施した。

河瀬プロデューサーが6月12日にEXPO ホールにてNARative@EXPO ホールを実施した。

石黒プロデューサーが、6月14日に EXPO ホールにて「『いのちの未来』建築カンファレンス supported by 長谷エコーポレーション」を実施した。

宮田プロデューサーが、6月18日・19日にメッセにて「EXPO 共鳴フェスー万博から描く未来社会の技術、デザイナー」を実施した。

宮田プロデューサーが、6月30日に EXPO ホールにて「Better Co-Being×読売日本交響楽団 弦楽四重奏コンサート」を実施した。

中島プロデューサーが、7月20日・7月24日・8月6日にいのちパークにて「いのちの祭り〜World Life Band」を実施した。

宮田プロデューサーが、8月4日に EXPO ホールにて「未来と健康のための高校生ビジネスコンテスト supported by 東和薬品」を実施した。

中島プロデューサーが、8月6日～10日にメッセにて「世界遊び・学びサミット」を実施した。

テーマ事業8館合同のシグネチャーイベントとして、8月9日に EXPO アリーナにていのちミュージックフェスを実施した。（8月10日は荒天にて中止）

落合プロデューサーが、8月30日に EXPO ホールにて落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト VOL. 9 《null²する音楽会 supported by ローム ミュージック ファンデーション》を実施した。

イ テーマ事業プロデューサーのメディア露出など効果的なプロモーション活動を実施することで、機運醸成をはかり万博全体の集客増につなげる

開幕前及び開幕中において、テーマ事業プロデューサーのメディア露出を行うなど、各種プロモーション活動を実施し、万博の機運醸成を図った。

（参考）

2025年4月3日に夢洲会場にて8館完成披露・合同内覧会を実施した。

中島プロデューサーが4月11日に「クララと そうぞうの き」（ひかりのくに）を刊行した。

福岡プロデューサーが4月13日に「君はいのち動的平衡館を見たか 利他の生命哲学」（朝日出版社）を刊行した。

石黒プロデューサーが4月14日に「アンドロイドはマンションの夢を見るか？」（毎日新聞出版）を刊行した。

石黒プロデューサーが5月18日に「いのちの未来 2075 人間はロボットになり、ロボットは人間になる」（日経 BP）を刊行した。

6月30日から7月3日に NHK・Eテレ「The Wakey Show」において、「万博 WEEK」と題してシグネチャーパビリオン8館が紹介された（4月27日撮影）。

(4) 未来社会ショーケース事業の発信

- ア 開幕後の更なる万博の機運醸成を図るため、未来を感じさせる次世代技術や社会システムを体験できる未来社会ショーケース事業の内容をウェブやイベントで発信する等、効果的なPR活動を展開して集客につなげる

【スマートモビリティ万博】

◆パーソナルモビリティ

主に高齢者・長距離歩行が困難な方を中心に人が前を通ると感知して減速するセンサーを擁するパーソナルモビリティを東・西貸出所で無料貸出を2025年4月13日から7月31日まで実施した。東西合わせ150台を保有し、1日に240人に貸出を行った。8月1日からは、東西貸出所前における試乗会、および場所を限定した移動体験会に変更。歩車混同の未来の交通システムを検証中。

◆ロボット・モビリティステーション

4月13日からロボット・モビリティステーションにて各種ロボットを展示し、AI スーツケースを筆頭に実証実験を実施中。

◆e Mover

4月13日から6停留所を擁す外周道路での来場者輸送を実施し、1日あたり5,000人から7,000人が乗車している。EVバスは3台の自動運転、20台の手動運転（内、6台が走行時給電）が常時運行し、自動運転技術、走行時給電技術の実証実験を積み重ねており、来場者にもEVバス内でのモニター・アナウンスで発信している。

◆空飛ぶクルマ

4月13日からモビリティエキスペリエンスのEXPO Vertiportにおいて事業開始。丸紅によるHEXA機は、4月13日から4月26日まで、7月12日から7月14日まで、7月18日から7月21日までの期間において、合計23回のデモ飛行を実施した。SkyDriveは、7月31日から8月24日までの期間において、合計17回のデモ飛行を実施した。ANA ホールディングス及びJoby Aviationは、10月1日から10月13日まで（運休日あり）の期間においてデモ飛行を実施予定。

また、空飛ぶクルマに関する展示施設（空飛ぶクルマステーション）の運営を4月13日から開始。8月20日には、来館100万人突破記念イベントを実施した。

【デジタル万博】

来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装にあたり、企業・団体等と連携し、4月から来場者向けに各サービスの提供を開始し、安定的な運用を行っている。

【バーチャル万博】

4月3日にバーチャル万博アプリのリリースを行い、世界中の人々からの万博参加を実現。開幕以降、ナショナルデーなどのライブ配信のほか、展示コンテンツや機能改善を行い、サービス品質の向上に努めている。

E X P O 共創事業については、大阪・関西万博会場内において、協会主催の交流・共創イベント「ミライ×未来ソーダ」を129回、E X P O 共創事務局による交流イベントを5回開催した。

【アート万博】

水上ショーについては、4月1日に協賛者によるメディアプレビューを行い、開幕以降、国内外を問わず多くのメディア取材の申し出を積極的に対応を行った。6月4日から7月10日まで中止はあったものの、7月11日に再開した。8月21日から24日には、暑熱対策をかね「天然水のかちわり氷」の配布を行いPRに努めた。

パブリックアートにおいては、協賛者による「大阪関西国際芸術祭」の図録を6月23日に発行。万博会場内に設置されているアート作品も掲載された。

【グリーン万博】

万博運営および経済活動全般における環境負荷低減技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、具体的な取り組みについて検討し、新たにENEOS株式会社と協賛契約を締結した。

また、協会HPでの協賛事業の紹介や見学ツアー案内を充実し、集客につなげた。

【フューチャーライフ万博】

◆未来の都市

開幕早々から学校団体が多く来館し、4月27日には10万人目の来館者に記念品の贈呈及び未来の都市HPに掲載して盛り上がりをPRした。以降、5月20日に30万人、6月10日に50万人を突破した。8月6日には100万人を迎え、パビリオン前で協賛者のアテンダントスタッフやミャクミャク、他館からのキャラクターも一緒になり「来館者100万人達成記念イベント」を開催した。8月31日までの総来館者数は1,369,408名となった。

7月1日から7月7日は、国内パビリオン連動・七夕企画で来館者が短冊に願いごとを書くイベントに未来の都市として参加した。7月20日から7月29日・8月3日から8月10日はFuture City Weekと銘打ち、館内及びFLVのステージも使って未来の都市パビリオンの盛り上げ施策を実施した。

他にも8月3日から夏期限定スタンプを提供するなど、種々取組実施し、Visitors アプリや広報プロモーション局にも協力を仰ぎメディアブリーフィング

に参加、更に未来の都市HPを使って広く広報PRを行った。

◆フューチャーライフエクスペリエンス

4月13日から展示運営を開始し、4月24日から内閣官房主導の「隕石」展示（7月8日終了）、8月6日から「漫画家メッセージボード展」（9月4日終了）、8月19日から「しゃべりかけるミyakumiyaku」（会期末まで）の展示を行った。

また、2024年8月28日第1弾の協会HPへの公表を皮切りに、2025年8月26日までに第12弾（全90者）の参加者を発表した。

8月26日までのFLVとしての来場者累計（但し、目視換算）は1,394,656人。8月26日時点の使用ベースで（見込み含む）常設展示7枠、期間展示156枠、ステージ275枠。

（5）イベントの円滑な運営、情報の発信

ア 会期中のイベント（参加催事）を安全かつ円滑に実施する

各催事施設で多種多様なイベントを開催。来場者の安全面を最大限考慮し、夏場の暑熱対策を確り実施。公式参加者が実施するナショナルデーやパレードも大変盛況であった。

イ 開会式、協会主催者催事、閉会式を安全かつ円滑に実施する

2025年4月12日に開会式を実施した。万博の幕開けを告げる世界的な式典として、華やかな演出と最新技術を駆使したショーを世界中に発信した。

協会主催者催事であるPhysical Twin Symphonyを開幕日より8日間開催。観客と出演者が共に体感できるライブエンターテイメントを実施し好評を得た。

開幕日より毎日開催されるOne World One Planetも円滑に実施中。特にドローンの演出は来場者から好評を得た。

閉会式については10月13日実施に向けて現在内容を検討中。

ウ イベントの効果的なPR活動を継続し、会期中の来場者増加につなげる

会期中の来場者増加策として、2025年7月19日～8月31日の夏休み期間中「ミニ花火大会」を開催。来場者より大変好評を得た。

（6）企業・団体等の参加促進

ア 企業・団体等は、ともに万博の成功を目指すパートナーであり、万博の盛り上げのため、協賛事業PR活動の推進、来場の促進、万博レガシーの検討等を行う

開幕以降も、協賛の申し入れに対しては積極的に受け入れを行い、協賛サインageボードに協賛者名を掲載した。会場内で行うプロモーション活動については、随時、申請

書面にて確認を行い、適切に PR 活動を支援した。閉幕後のパビリオン移設や自社店舗におけるリング（木材）活用等の個別相談に対応しているところもある。

イ 民間パビリオン出展参加者とともに、パビリオンをより多くの来場者に体験してもらい、万博の魅力を発信する

2025 年 4 月以降、2 週間に 1 回を目途に館長会議を実施した。

- ・パビリオンで日々発生している運営課題に関する解決事例の共有
- ・万博全体の運営に関する協会の対処方針や、スピーディな課題共有

など、民間パビリオンとの情報連携を促進することで、来場者の体験価値の向上に取り組んだ。

ウ キャッシュレス決済及び EXPO 2025 デジタルウォレットサービスを効率的、効果的に運営する

キャッシュレス決済及び EXPO 2025 デジタルウォレットサービスを効率的、効果的に運営するため、EXPO2025 デジタルウォレット利用者に利用いただける会場内の「デジタルウォレットパーク」の運営を 2025 年 4 月 13 日から開始した。また、各種キャンペーン等を実施し、キャッシュレス決済の利用促進及びデジタルウォレットアプリのダウンロード促進を行った。

（参考）

- ・「EXPO2025 デジタルウォレット」アプリの DL キャンペーン第 2 弾を 4 月 1 日から 4 月 12 日まで実施した。
- ・大阪・関西万博の開幕日である 4 月 13 日にあわせて、国内外から訪れる多くの来場者に対し、大阪駅をはじめとした万博会場までの主要な沿線でプロモーションを展開し、デジタルウォレットの利用促進を行った。
- ・来場者がパビリオンの魅力を楽しく学べる「EXPO2025 デジタルウォレット」の「EXPO パビリオン検定」を 6 月 6 日から開始した。
- ・関西 MaaS 協議会との連携により、EXPO2025 デジタルウォレットの事業連携サービスとして、「万博シャトルバスキャンペーン」を 6 月 26 日から 7 月 31 日まで実施した。また、第 2 弾キャンペーンを 8 月 1 日から 8 月 31 日まで実施した。
- ・「EXPO2025 デジタルウォレット」で USJ との連携キャンペーンを 7 月 11 日から 8 月 31 日まで実施した。
- ・「EXPO2025 デジタルウォレットパーク」にてデジタル抽選体験「ミャクミャク☆チャレンジ」を 7 月 17 日から実施した。また、期間限定イベントとして、全員当選キャンペーン『ミャクチャレ祭☆全員当選 7DAYS』を 8 月 18 日から 8 月 24 日まで実施した。
- ・「EXPO2025 デジタルウォレットパーク」にてレジェンド会員限定サービスの予約制を 7

月25日から実施した。

(7) 入場券・パビリオン予約に関する取組

ア 販売体制の充実

新たな販売チャネル確立として、万博IDの取得なしにチケット購入が可能なEXP O Q u i c kでの販売、中国マーケットに向けたWe C h a tでの販売、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのチケット購入者を対象とした割引販売などを実施した。また、各販売代理店へ旅行商品造成の働きかけを行った。

協会直販としては、前売り販売期に続き、主要経済団体及び関西広域連合傘下の自治体協力の下、企業及び自治体への販売を推進した。さらにイベント等を主催する公式参加者や協賛企業にも働きかけを行い販路拡大に注力した。

イ 入退場ゲートの円滑な運用

会場外の東西引換所では、駅前等での来場者滞留を防ぐため、警備JVと連携し待機列・案内導線を整備した。

会場内の東西改札室では、会場サービスチームと連携しゲート滞留の要因となる機器障害や着券エラーの初期対応に注力した。発生頻度の高い事象は整理・マニュアル化し、スタッフ対応スキルの標準化を推進した。また、会期前半の通信不安定による着券認証遅延等については、迅速に運用対処しつつ、入場券システムを改善し利便性向上に寄与した。

ウ 販売戦略の遂行

東西ゲート前のチケット引換所において、当日券の販売を開幕日(2025年4月13日)から開始した。また、早期の来場促進策として、4月・5月の来場者に限定して次回来場時に使える通期パス購入時に利用可能な割引コードを配布した。

そして、夕方や夜間の来場促進策「トワイライトキャンペーン」として、2025年5月7日より夜間券の来場可能時間を17時から16時に早めた。

エ パビリオン・イベント予約制度の運用

開幕時には42パビリオン(公式16、国内4、民間14、シグネチャー8)が入館予約制度を利用した。

民間パビリオン2館(パナソニック8月1日～、電力館8月12日～)は、夏休み期間中、家族向けプログラムを追加し子供の入館の機会を増加した。

また、当日登録ができる機会を増やすため当日登録枠を当日に順次開放することを各パビリオンに働きかけ、多くのパビリオンで実施された。

(8) テーマウィークの発信

ア 協会主催のテーマウィークプログラム「アジェンダ 2025 主催プログラム」の実施

2025年4月4日に、大阪・関西万博「テーマウィークスタジオ」開所式（「オーピングテーマウィーク」）を開催し、テーマウィーク協賛者等とともにスタジオの開所を祝うとともに、ポーランドや国連の参加も得て、これから半年間にわたって展開されるテーマウィークプログラムの全体像を共有した。

開幕後、テーマウィークプログラムのうち、協会主催のテーマウィークプログラム「アジェンダ 2025 主催プログラム」について、テーマウィークスタジオにおいて、各テーマにかかる計18プログラムを実施した。

・未来への文化共創 ウィーク（4月25日～5月6日）

- 5月5日 ①「歴史文化の継承と発展」②「新たな文化の土壌づくり」
③「未来に向けた多文化の共鳴」

・未来のコミュニティとモビリティ ウィーク（5月15日～5月26日）

- 5月17日 ①「持続可能な都市・地方への転換」②「リアルとデジタルが融合した社会のあり方」③「デジタルを中心とした次世代のコミュニティ」

・食と暮らしの未来 ウィーク（6月5日～6月16日）

- 6月16日 ①「100億人のための健康で持続的な食提供」②「食文化の継承・発展」③「エシカルリビングの促進」

・健康とウェルビーイング ウィーク（6月20日～7月1日）

- 6月28日 ①「サイエンス・テクノロジーの進展」②「Well-being エコシステムの構築」③「Well-being 経営・教育」

・学びと遊び ウィーク（7月17日～7月28日）

- 7月28日 ①「AI時代の学び・遊びのあり方」②「学びへの公平なアクセス」
③「多様な個性を活かす学び・遊び」

・平和と人権 ウィーク（8月1日～8月12日）

- 8月12日 ①「人権の尊重・保障」②「平和の構築・実現」
③「労働市場における格差是正」

また、アジェンダ 2025 関連プログラムとして、万博に参加する公式参加者のビジネス代表团、大学、科学者、政府関係者、Agenda2025 主催プログラムのパネリスト、および関連する日本の産官学関係者が一堂に会し、ディスカッションやネットワーキングを通じて参加者がテーマに沿った未来社会に対する展望を共有し、共通の理解やつながりを構築することをめざす「Visionary Exchange」を、「未来のコミュニティ」ウィークと「モビリティ健康とウェルビーイング」ウィークにおいて、それぞれ5月16日と6月27日に EXPO サロンにて開催した。

イ テーマウィークスタジオでのテーマウィークプログラムの円滑な実施

テーマウィーク事務局を中心に、テーマウィークスタジオにおけるプログラム実施準備等を行い、各プログラムの実施主催者との連携・調整、打ち合わせを進めた。

また、2025年4月1日以降もテーマウィークプログラムのエントリー要望に柔軟に対応し、テーマウィークプログラムの充実に努めた結果、会期を通じて、様々な実施主催者による計400以上のテーマウィークプログラムが実施される見込みとなった。

実施状況としては、4月25日開始の「未来への文化共創」ウィークを皮切りに、協会主催のテーマウィークプログラムであるアジェンダ2025 主催プログラムをはじめ、公式参加者、日本国政府等、プログラムサポーター、テーマウィークプログラム協賛者、テーマ事業プロデューサー、出展者など、万博会場内の様々なステークホルダーによるテーマウィークプログラムが、テーマウィークの主要会場であるテーマウィークスタジオやEXP0 メッセはもちろん、公式参加者パビリオンやギャラリーWEST など会場内の様々な施設において、計303プログラムが実施され、うちテーマウィークスタジオにおいては、計132プログラムが実施された。

また、地球的規模の課題解決を目指す「テーマウィーク」の取り組みを全国に広げるため、その趣旨に沿った会場外プログラムと連携する取り組みとして「テーマウィークコネクト」を実施。大阪だけでなく、日本各地の19プログラムと連携した。

ウ テーマウィークプログラムの魅力発信やアーカイブ化

テーマウィークの来場促進と参加意欲の醸成、さらには「いのち輝く未来社会を世界とともに創る」という開催理念の発信を目的として、特設WEBサイトや各種メディアを通じた情報発信及びアーカイブ化を実施した。

開幕前から、協会主催のアジェンダ2025 主催プログラムに加え、各実施主催者によるテーマウィークプログラムについても、できる限り早期に詳細情報を発信するよう働きかけ、特設WEBサイト上で順次公開を行った。

また、会期中に多数のプログラムが実施されることを踏まえ、来場者が、各プログラムの開催日時・場所・内容を把握しやすいよう、テーマウィークの概要説明を含むブローシャ（プログラム一覧）を作成し、特設WEBサイト上で公開。プログラムのエントリー状況に応じて、内容を2度更新した。

さらに、会場に来場できない国内外の方々にもテーマウィークの魅力を届けるため、バーチャル万博内に開設したテーマウィークスタジオ、及び、ユーチューブにおいて、ライブ配信を実施。これにより、リアルとオンラインの両面から情報発信を強化した。

メディアに対しては、各テーマの進捗に応じて、各ウィーク開始前にメディアセンターでの資料配布やメディアブリーフィングを行い、個別メディアへの資料提供も実施することで、報道機会の創出と情報の正確な伝達を図った。

また、実施済のテーマウィークプログラムについては、動画や写真等を活用し、各プ

ログラムの内容に応じたアーカイブコンテンツを順次作成。特設 WEB サイト等を通じて公開し、テーマウィークの成果を継続的に発信している。

3 大阪・関西万博の記録の継承と会期後を見据えた業務執行

(1) 各種記録の保存に係る取組

ア 公式記録集（書籍・映像）の編集業務の円滑な実施

「公式記録集」の構成案を作成し、各事業に関わる部分について情報を取りまとめた一次段階の原稿作成を開始した。「公式記録写真集」「公式映像集」については、開幕以降、公式撮影班による撮影を本格的に開始した。

イ 公式記録の撮影業務の円滑な実施

公式撮影として動画及びスチール写真の撮影を本格的に開始した。「公式記録集」「公式記録写真集」「公式映像集」での使用を目的としているが、撮影した映像、画像は、国内外メディアへ映像素材として提供したほか、公式 Web サイト、公式 SNS でも活用した。

開会式、ND・SD の公式式典、協会主催のものを中心に主要なイベントについて撮影実施している（継続）。また、国内・海外パビリオンの外観、内観の撮影を完了し、現在シグネチャーパビリオンの撮影を実施している。また他の主要施設についても撮影計画を作成しており、今後順次撮影を開始することとしている。

ウ 各種記録の収集、保管の実施

各部署の業務資料、業務記録の収集・保管を開幕前と同様に実施した。

エ レガシーの記載

2025年4月9日に、レガシーのアピールに資する会期中の情報収集について協会内各局からの意見を集約し、レガシー候補表を作成した。

4月から7月にかけて、会期中の運営状況を見ながら、レガシー候補表の更新を実施した。来場者アンケートに基づく運営方法の継続的改善などを新たにレガシーの候補に位置付けた。

8月に、公式記録チームとともに、レガシーに関しての記述内容の骨子の検討を始めた。また、その根拠となるデータ収集方法の一つとして、来場者向けのアンケート票の作成を開始した。

(2) データ利活用の取り組み推進

ア データ連携の推進と安全な運用

2025年4月13日の開幕より30を超えるデータ利活用サービスについて、そ

のサービス提供を開始した。サービス提供開始後は、データ連携状況についてモニタリングを行い安定稼働に向けて保守運用を行っている。

イ データの見える化とノウハウの社会還元

2025年4月13日の開幕以降、入場者数など万博運営のデータの見える化（ダッシュボード化）を行い、日々運営改善に利用している。また、本取組みについて6月5日には、アイデアソン/ハッカソンのオープニングイベントを開催し、同月27日には、大阪・関西万博会場内にてテーマウィークイベントとしてデータ利活用の取り組みについて広く発信を行った。

(3) 会期後を見据えた適切な会計業務の実施

ア 関係法令や会計基準に則り、適切な決算処理を行う

2025年4月から5月上旬にかけて、2024年度決算処理を行い、2024年度財務諸表を作成した。2024年度財務諸表については、会計監査人トーマツの会計監査を踏まえ、理事会・社員総会の承認を得た。

また、7月30日に2025年度決算に向けて会計監査人トーマツとの意見交換を行った。

イ 専門家等の意見を仰ぎながら、会計検査等に適切に対応する

2025年4月から5月14日まで会計監査人トーマツの会計監査を受け、決算処理についての指導を受けた。5月14日に会計監査人トーマツから監事へ監査報告が行われ、2024年度財務諸表にかかる同日付の適正意見を付した監査報告書を受領した。

4 資源循環に係る取り組み推進とその発信

(1) 持続可能性管理システム（ESMS）の運用

ア ISO20121 の認証を踏まえ、個別の取組・指標及び万博全体の指標に係る取組について、進捗管理を図り、ESMS を運用する

持続可能性方針を踏まえ、持続可能な万博運営に係る個別の取組を具体化してISO20121に準拠したESMSを構築し、2023年4月から運用を開始し、同年8月にはISO20121の認証を取得している。

また、ESMSに関してステークホルダーへの定期的な報告を行うため、持続可能性有識者委員会での検討を踏まえて、「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画」（開催前報告書）を公表している。

2025年4月には、運用中のESMSに対して、ISO20121の認証継続に係る第三者機関の審査を受検し、開会式を含めた現地調査が実施された。

イ 物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法等を定めた調達コードを運用する

2025年6月30日に第13回持続可能な調達ワーキンググループを開催し、調達コード実施状況、今後の取組について検討を行うとともに、大阪・関西万博会場におけるスタッフの労働環境や大屋根リングの木材等に関する調達コード遵守状況確認を目的としたワーキンググループ委員による会場視察を実施した。

調達コードに関する通報受付対応（グリーンバンス・メカニズム）について、4月に受け付けた通報1件について処理手順の開始を決定し、2025年3月に処理手順の開始を決定した通報3件と合わせた計4件について、助言委員会を組成・開催し、助言委員の助言に基づき、通報者、被通報者ヒアリング等の調査を実施した。

ウ 大阪・関西万博に係るあらゆる人の人権を尊重し、博覧会協会の人権方針に従って、人権デューデリジェンスを実施する

2025年8月4日に第4回人権ワーキンググループを開催し、テーマウィーク「平和と人権」、人権デューデリジェンスの実施状況等について意見交換や検討を行うとともに、大阪・関西万博会場における人権に関する取組状況の確認を目的として、障がい者への対応状況やスタッフの労働環境等についてワーキンググループ委員による会場視察を実施した。

人権に関する通報受付対応としては、8月末までに通報受付等に連絡が入った387件の内容を確認し、通報処理に必要な事項を記載した通報フォームに基づいており、かつ「博覧会事業・運営の一環」で発生した人権関連の内容と認められた141件について通報者・被通報者・関係者等への確認を行うとともに処理を実施した。

（2）会期後の財産処分のための体制整備

ア リユース・リサイクルのあり方検討

リユースについては、将来世代への万博のレガシーの継承に加えて、万博で活用した資源の有効利用を図り、サステナブルな万博運営を実現するため、これまで財産処分にかかる国、大阪府市等との協議や専門家との議論を継続的に進めてきたところであり、そこでの成果を踏まえ、2024年度に財産処分にかかる各種規程を整理したところである。

また、2024年度後半から現時点までは、上述の規定に基づき、財産処分委員会を12回開催するとともに、準備が整った案件から順次、マッチングプラットフォーム「万博サーキュラーマーケット ミヤク市！（以下、「ミヤク市！」）」を活用し、無償譲渡・有償譲渡に向けた公募を実施するなど、着実に財産処分に取り組んでいるところである。今後も引き続き、財産処分委員会を適切に運営・開催するとともに、無償譲渡・

有償譲渡に向けた公募を着実に実施するなど、適切に財産処分に取り組む予定である。

加えて、万博へ出展している原則全てのパビリオンを対象に、まずは会期前半である2025年6月後半頃、更に会期後半の2025年9月頃に「リユースの対応方針にかかるアンケート」を実施し、万博全体のリユースの状況の把握に努める予定である。

これらの取り組みの結果については、「行動計画開催後報告書」へ適切に反映する予定である。

イ マッチングプラットフォームの効率・効果的運用

ミヤク市！は、来社会ショーケース事業／GREEN EXPO／リユースマッチング事業の一環で協会と協賛者が整備したマッチングプラットフォームであり、2024年8月に公開されてから、「パビリオン等の移築」「建材・設備等のリユース」「什器・備品等のリユース」の3つのカテゴリーに分け、無償譲渡・有償譲渡に向けた意見募集や公募を実施しているところである。

「パビリオン等の移築」に関しては、2024年8月以降、協会が所有するパビリオンや施設について需要家から移築等の意見募集を実施してきたところであり、ここでの意見等を踏まえ、2025年6月から8月までに2回「大屋根リングで使用されている木材」の公募を、また、2025年7月に「ランドスケープ（樹木）」、8月に「シグネチャーパビリオン（いのち動的平衡館）の展示物」の公募を実施したところである。引き続き準備が整ったものについて公募を実施する予定である。

「建材・設備等のリユース」に関しては、協会所有の財産のうち、原則として補助金等で購入したもので、解体工事が必要なものについて、2025年3月から8月まで合計7回の公募を実施したところである。引き続き準備が整ったものについて公募を実施する予定である。

「什器・備品等のリユース」に関しては、協会所有の財産のうち、補助金等で購入していないもので、解体工事を必要としない比較的小型で軽量なものについて、2025年10月から公募を実施する予定である。

（3）SDGs の取り組みの継承

ア ジュニア SDGs キャンプの実施

ジュニア SDGs キャンプにて実施する ESD（持続可能な開発のための教育）体験型プログラムについて、プログラムの提供者を募集し、2025年5月にグローブライド株式会社と、同年6月にエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社と、同年7月に一般社団法人日本モノレール協会と、同年8月に関西電力株式会社と協賛契約を締結した。ESD 体験型プログラム全体の実施回数は計 224 回となった。また、会場内の SDGs 関連施設を巡る会場内ツアーを、計 312 回実施した。

5 確実な収納の推進と財政基盤の確立と維持

(1) 財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

ア 博覧会基本計画に沿った資金の調達

前回借入(2025 年 3 月、260 億円)以降、新たな借入れは行っていない。

イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減、収支管理

万博の準備のために、入場券売上等を原資とする運営費事業に関し、協会役員を構成員とする運営費執行会議を当該間に 2 回開催した(第 6 回 2025 年 5 月 16 日、第 7 回 同年 8 月 6 日)。

さらに経済産業省において設置された 2025 年大阪・関西万博予算執行監視委員会において博覧会協会における予算執行管理について引き続き説明を行った(第 7 回 2025 年 5 月 16 日、第 8 回 同年 8 月 6 日)。

そのほか、万博会期中の運営費予算について、会場内で発生する計画外の変更契約・追加発注に備えて財源を確保し、収入の範囲内で、できる限り魅力的な万博とするための運営を継続していく必要があるため、開幕を迎えるにあたって、通常予算は義務的・経常的な経費、契約済みの継続案件、計画済みの支出のみに縮小し、その他変更契約、緊急執行のための予算枠確保を行い、収入が計画を下回った場合の弾力的な運用にも備えて会期中予算を設定し、総務局財務チームで一元管理した。

ウ 収納債権管理の円滑運用

会場内ユーティリティ(電気、上下水、冷水)について供給約款に基づく契約手続を完了している。

ユーティリティ料金の請求は月次で実施しており、料金徴収スキームや料金債権管理に大きな問題は生じていない。

(2) 財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

ア 寄附金の目標金額の達成に向けた募集活動の推進

寄附を検討している個人・企業に対し寄附の依頼を継続して実施した。

イ 補助金等各種資金の活用

大阪・関西万博協賛競輪を 4 開催(富山競輪場、四日市競輪場、岸和田競輪場、小倉競輪場)いただき、機運醸成にご協力いただいた。

6 社員総会・理事会の開催

(1) 理事会(2025 年 5 月 15 日)

開催方法: 決議省略の方法による

審議事項

- ・ 理事選任について、臨時社員総会を開催することなく書面決議の方法により付議する件
- ・ 副会長の選定の件
- ・ 会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件

出席等

提案書に対し、理事３５名全員の書面による同意及び監事２名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(２) 社員総会（２０２５年５月１５日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ 理事１名選任の件

出席等

提案書に対し、社員１１名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

(３) 理事会（２０２５年５月３０日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ ２０２４年度決算に係る計算書類等の承認の件
- ・ 定時社員総会の開催に関する件

出席等

提案書に対し、理事３５名全員の書面による同意及び監事２名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(４) 社員総会（２０２５年６月２３日）

開催方法：大阪・関西万博会場内「ＥＸＰＯサロン」を開催場所として、Web会議システムの併用による会議

審議事項

- ・ 理事の選任の件
- ・ ２０２４年度決算に係る計算書類の承認の件

報告事項

- ・ ２０２４年度の事業報告の件

- ・ 2025年度の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告の件

出席等

議決権行使書面提出者（書面表決者）4名、Web表決者2名、出席者5名の社員11名全員

（5）理事会（2025年6月23日）

開催方法：大阪・関西万博会場内「EXPOサロン」を開催場所として、Web会議システムの併用による会議

審議事項

- ・ 会長、副会長、事務総長及び副事務総長の選定の件
- ・ 代表理事及び業務執行理事の選定の件
- ・ 会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件
- ・ 事業報告等に係る提出書類の提出承認の件
- ・ 会計監査人の報酬額決定の件
- ・ 大屋根リング活用に関する検討結果及びリユース費用の件
- ・ 変動対応事項における会場建設費の執行の件

報告事項

- ・ 2024年度寄附金受領の件
- ・ イベントの現況の件
- ・ 海外パビリオンの状況の件
- ・ 大屋根リングの活用に関する検討会 取りまとめの件
- ・ 協会資産のリユース取り組みの件
- ・ 運営費及び会場建設費の執行状況の件
- ・ 会場運営の課題と対応策の件
- ・ 入場券販売と来場者数の状況の件

出席等

理事現在数	35名	定足数	18名	出席理事数	29名
監事現在数	2名	出席監事数	2名		

7 役員就退任

- ・ 2025年 5月15日 理事及び副会長退任（宮部 義幸氏）
- ・ 2025年 5月16日 理事及び副会長就任（永井 靖二氏）

8 事務局体制

（1）職員数の推移

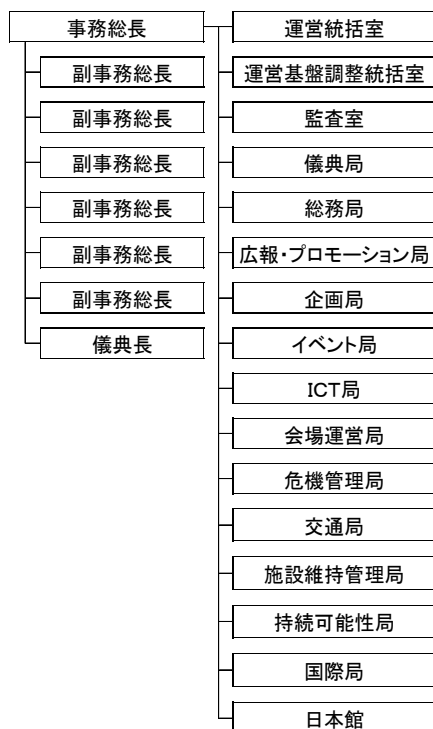
- ・ 2025年4月 1日 職員891名に増員
- ・ 2025年8月31日 職員873名に減員

(2) 事務局組織の変遷

2025年3月1日に完了した会期中の組織体制を維持し、博覧会の円滑な運営に努めている。業務の繁忙に応じて人員の補強を行い、来場対応や広報活動、イベント運営などにおいて柔軟な体制を整備した。

また、博覧会閉幕後に発生する業務への対応に向けて、各局において業務内容の整理と人員配置の適正化に関する調査・検討を開始した。今後も、状況に応じた体制構築に向けた準備を継続していく。

【4月1日時点組織図】



9 主な契約案件

(1) 令和6年度補正2025年国際博覧会事業費(大阪・関西万博日本政府出展事業)(受託契約)

- ・ 契約の相手方 経済産業省
- ・ 契約金額 1,420,068,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年2月27日
- ・ 契約期間 2025年2月27日～2026年3月31日

(2) 2025 年日本国際博覧会ゲート前チケット引換所実施計画策定・実施運營業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社ステージ
- ・ 契約金額 387,291,960円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 119,484,200円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月7日
- ・ 契約期間 2024年12月6日～2025年10月31日

(3) 令和6年度補正大阪・関西万博政府開催準備事業(途上国出展支援事業)(受託契約)

- ・ 契約の相手方 経済産業省
- ・ 契約金額 8,398,126,999円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月18日
- ・ 契約期間 2025年3月18日～2026年3月31日

(4) 夢洲障がい者用駐車場用地の一時使用土地転貸借契約(2025年度)

- ・ 契約の相手方 株式会社大林組
- ・ 契約金額 112,854,800円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月28日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年2月28日

(5) 令和7年大阪・関西万博国際機関関係者訪日支援事業

- ・ 契約の相手方 株式会社JTB
- ・ 契約金額 129,986,271円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月31日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2025年11月30日

(6) ICT-PF 構築における2025年4月～2025年10月の外部人員の派遣契約

- ・ 契約の相手方 アクセンチュア株式会社
- ・ 契約金額 130,522,700円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月31日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2025年10月31日

(7) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会E SMS構築支援業務(その5)

- ・ 契約の相手方 EY新日本有限責任監査法人
- ・ 契約金額 109,450,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年4月30日

(8) 令和7年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」広報・催事・バーチャルパビリオン企画制作等業務

- ・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社
- ・ 契約金額 383,701,744円(税込)
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(9) 令和6年度当初2025年国際博覧会事業費(大阪・関西万博日本政府出展事業)(受託契約)

- ・ 契約の相手方 経済産業省

- ・ 契約金額 200,000,000円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(10) テーマ事業「いのちを拡げる」展示等制作及び総合監理業務（石黒館）

- ・ 契約の相手方 石黒 浩
- ・ 契約金額 259,428,000円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2025年12月31日

(11) テーマ事業「いのちを高める」展示等制作及び総合監理業務（中島館）

- ・ 契約の相手方 株式会社 steAm
- ・ 契約金額 261,439,886円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2025年11月30日

(12) 令和6年度補正資源自律経済加速関係主体連携促進事業費（大阪・関西万博日本政府出展事業）（受託契約）

- ・ 契約の相手方 経済産業省
- ・ 契約金額 4,380,010,000円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(13) 令和7年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」施設運営事業（バイオガス発電プラント運転管理等）

- ・ 契約の相手方 カナデビア株式会社
- ・ 契約金額 121,715,000円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(14) 令和7年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」展示制作・施工等業務及び運営実施業務（展示・運営）

- ・ 契約の相手方 日本館展示等コンソーシアム共同企業体
- ・ 契約金額 4,255,297,112円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(15) 令和7年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」展示制作・施工等業務及び運営実施業務（維持管理）

- ・ 契約の相手方 日本館展示等コンソーシアム共同企業体
- ・ 契約金額 190,096,464円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(16) 2025年度 途上国支援対象国のPR施策業務

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象国のPR施策業務共同企業体
- ・ 契約金額 1,976,449,596円（税込）
- ・ 契約日 2025年4月1日

・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(17) 2025 年日本国際博覧会 サステナドーム実施製作・運営管理業務（実施運営業務）

・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社
・ 契約金額 151,800,000円（税込）
・ 契約日 2025年4月1日
・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(18) 2025 年度途上国支援対象タイプC 共同館の展示内外装施工保守・撤去及び運営業務

・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプC 共同館共同企業体
・ 契約金額 3,172,577,799円（税込）
・ 契約日 2025年4月1日
・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(19) 2025 年日本国際博覧会公式参加者宿舎用賃貸家具家電供給業務委託(2025 年度)

・ 契約の相手方 ユナイトサービス・リアルゲート共同事業体（代表構成員：ユナイトサービス株式会社）
・ 契約金額 149,269,744円（税込）
・ 契約日 2025年4月1日
・ 契約期間 2025年4月1日～2025年12月15日

(20) 2025 年日本国際博覧会協会公式撮影（ムービーカメラ）および公式記録映像集の制作（2025 年度契約分）

・ 契約の相手方 NEP・東通インフィニティー共同企業体（代表構成員：株式会社 NHK エンタープライズ近畿総支社）
・ 契約金額 142,000,000円（税込）
・ 契約日 2025年4月1日
・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(21) 2025 年日本国際博覧会 00H 等による入場チケット広報・プロモーション業務（2025 年度）（第二期）

・ 契約の相手方 Jコミ・jeki・JTA 共同企業体（代表構成員：株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ）
・ 契約金額 224,500,000円（税込）
・ 契約日 2025年4月1日
・ 契約期間 2025年4月1日～2025年11月30日

(22) 夢洲駅駅前施設警備業務に関する協定書

・ 契約の相手方 大阪市高速電気軌道株式会社
・ 契約金額 127,421,800円（税込）
・ 契約日 2025年4月2日
・ 契約期間 2025年4月4日～2025年10月13日

(23) 2025 年日本国際博覧会ゲート警備実施業務(概算契約)(変更契約)

・ 契約の相手方 2025 年日本国際博覧会ゲート警備共同企業体
・ 契約金額 6,844,574,000円（税込）
・ 変更金額(増額) 299,574,000円（税込）
・ 契約日 2025年4月2日

・ 契約期間 2024年3月29日～2025年10月13日

(24) 2025 年日本国際博覧会会場警備実施業務(変更契約)

・ 契約の相手方 2025 年日本国際博覧会会場警備共同企業体
・ 契約金額 6, 173, 417, 320円(税込)
・ 変更金額(増額) 817, 155, 108円(税込)
・ 契約日 2025年4月2日
・ 契約期間 2024年3月29日～2025年10月13日

(25) プロジェクトマネジメント支援業務(その6)

・ 契約の相手方 山下PMC・阪急コンストラクション・マネジメント株式会社共同企業体(代表構成員：株式会社山下PMC)
・ 契約金額 275, 440, 000円(税込)
・ 契約日 2025年4月21日
・ 契約期間 2025年4月21日～2026年3月19日

(26) 2025 年日本国際博覧会万博アプリ・万博ポータル開発保守運用業務(開発業務)(変更契約)

・ 契約の相手方 株式会社 FIXER
・ 契約金額 803, 594, 000円(税込)
・ 変更金額(増額) 121, 000, 000円(税込)
・ 契約日 2025年5月7日
・ 契約期間 2023年8月8日～2025年12月31日

(27) 2025 年日本国際博覧会施設整備事業 PW 南東工区(工事請負)(変更契約)

・ 契約の相手方 清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体
・ 契約金額 26, 528, 357, 900円(税込)
・ 変更金額(増額) 158, 552, 900円(税込)
・ 契約日 2025年5月29日
・ 契約期間 2023年4月19日～2025年5月30日

(28) 2025 年日本国際博覧会来場者サービス実施計画策定・実施運営業務委託(変更契約)

・ 契約の相手方 TSP太陽・TOPPAN共同企業体
・ 契約金額 6, 760, 220, 352円(税込)
・ 変更金額(増額) 114, 312, 000円(税込)
・ 契約日 2025年6月4日
・ 契約期間 2024年1月9日～2025年12月22日

(29) 大阪・関西万博総合コンタクトセンター業務委託

・ 契約の相手方 株式会社 BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS
・ 契約金額 168, 190, 000円(税込)
・ 契約日 2025年6月15日
・ 契約期間 2025年6月15日～2025年10月13日

(30) 2025 年日本国際博覧会万博 ID ユーザ対応業務委託(第3期)(変更契約)

・ 契約の相手方 株式会社 NTTマーケティングアクト ProCX
・ 契約金額 230, 853, 810円(税込)
・ 変更金額(増額) 138, 453, 810円(税込)

- ・ 契約日 2025年6月30日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2025年11月14日

(31) 2025 年日本国際博覧会来場者サービス実施計画策定・実施運營業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 TSP太陽・TOPPAN共同企業体
- ・ 契約金額 6,901,311,445円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 141,091,093円(税込)
- ・ 契約日 2025年7月14日
- ・ 契約期間 2024年1月9日～2025年12月22日

(32) 2025 年日本国際博覧会閉会式に係る実施計画作成及び管理運営委託業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 博報堂グループ共同企業体(代表構成員:株式会社博報堂プロダクツ関西支社)
- ・ 契約金額 199,788,600円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 159,808,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年8月2日
- ・ 契約期間 2025年7月4日～2025年11月28日

(33) 入場券販売関連システムサービス提供業務委託契約(4回目)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 ぴあ・GF・JCD 共同企業体
- ・ 契約金額 4,374,884,600円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 121,925,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年8月4日
- ・ 契約期間 2022年5月20日～2025年12月31日

(34) 2025 年日本国際博覧会夢洲会場南東埋立地舗装等撤去工事

- ・ 契約の相手方 株式会社今重興産
- ・ 契約金額 116,383,300円(税込)
- ・ 契約日 2025年7月28日
- ・ 契約期間 2025年7月28日～2026年2月28日

(35) 2025 年日本国際博覧会 会期後の建材／設備機器等 リユースマッチング事業におけるリユースマッチング解体等業務(概算契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社 SMART
- ・ 契約金額 148,500,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年8月19日
- ・ 契約期間 2025年8月19日～2026年3月31日

(36) 2025 年日本国際博覧会施設整備事業 PW 北東工区(解体撤去)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・ 契約金額 1,857,854,900円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 403,590,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年8月25日
- ・ 契約期間 2025年10月20日～2027年2月28日

10 資金の確保

(1) 寄附金収入	1, 9 0 7, 9 2 2, 0 0 0円
1 一般寄附金	1 5, 0 2 0, 0 0 0円
2 特別寄附金	1, 8 9 2, 9 0 2, 5 0 0円
※現物寄附は除く	
(2) 補助金収入	0円
1 国庫補助金	0円
2 地方公共団体補助金等	0円

報告事項 2

閉会式等の件

大阪・関西万博宣言フォーラムについて

- ・ 万博の成果を広く世界に発信していくため、大阪・関西万博宣言フォーラムを開催し、宣言を発表する。同日午後の閉会式において、日本政府による宣言の紹介を行う。

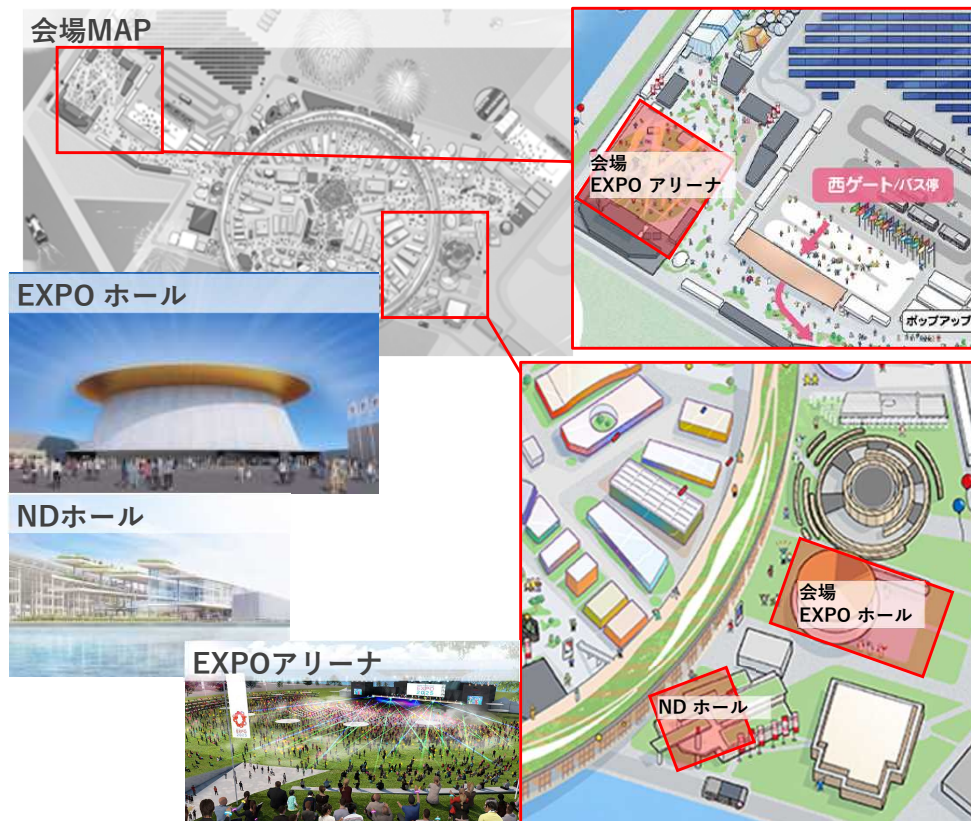
フォーラム詳細

- ・ 日 時：2025年10月13日（月・祝）10時30分～11時30分
- ・ 場 所：EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」
- ・ 次 第：
 - 開会の辞（博覧会協会）、日本政府挨拶（日本政府）、開催地自治体挨拶（大阪府）
 - 宣言に関するパネルディスカッション
パネリスト：アルビナ・ファリア・デ・アシス・ペレイラ・アフリカーノ（アンゴラ陳列区域代表）
ローリー・ピーターズ（カナダ陳列区域代表）、モーリーン・スミス（ジャマイカ陳列区域代表）
藤本壮介（会場デザインプロデューサー）
宮地純（ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier（カルティエ ジャパン プレジデント&CEO））
西尾章治郎（「いのち会議」事業推進協議会議長（前大阪大学総長））
佐久間洋司（シェイプニューワールドイニシアティブ代表理事）
モデレーター：石川勝（会場運営プロデューサー）
 - 宣言文の手交、閉会の辞（国際連合、BIE）
- ・ 参加者：公式参加者、BIE関係者、国内パビリオン出展者、政府関係者、大阪府市関係者、一般来場者、博覧会協会

閉会式等について

閉会式は約1,500名の賓客をご招待し、EXPOホールを会場にて実施

行事名称	2025年日本国際博覧会 閉会式 (大阪・関西万博 閉会式)
日時	2025年10月13日(月・祝) 14時00分～15時10分頃 NHK総合テレビで全国生放送予定 13:55～15:10 (変更の可能性あり)
会場	EXPO ホール
	パブリックビューイング：NDホール、EXPOアリーナ
出席者 (調整中)	内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官 閣僚、国会議員、政府関係者、BIE関係者、公式参加者 (各国政府代表等) 地方自治体関係者、経済界関係者、民間パビリオン出展者 メディア 等 約1,500名
主催	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会



- 閉幕翌日（10月14日）、大阪市内ホテルにて、公式参加国や貢献企業などに協会としての謝意を示す謝恩レセプションを開催予定。

閉会式の演出について

【閉会式テーマ】 For the Future

夢洲でひとつにつながったわたしたちは、この日をきっかけに、それぞれの未来へと歩み出す。万博に関わったすべての人々の「それぞれの未来（Futures）のはじまり」を感謝と称賛とエールで送り出す場として、「For the Futures」というテーマで実施します。

閉会式次第

- ①プロトコール ②オープニング ③プロトコール ④パフォーマンス
- ⑤プロトコール ⑥フィナーレ ⑦クロージング

※プロトコール…主催者・来賓挨拶、国歌斉唱や国旗掲揚など

報告事項 3

閉幕後の工事のスケジュール等の件

閉幕後の工事のスケジュール等

〈会場全体スケジュール〉

すべての施設を撤去後、整地作業等を行い、2028年2月迄に敷地返還予定。
敷地返還に向けて、各施設の計画的な撤去作業が必要。

施設名	2025年						2026年												2027年												2028年		
	2025年度						2026年度												2027年度														
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
タイプA 民間等PV	建物解体・外構撤去						■ガイドライン※1 ■返還期限 (リユース解体)																										
タイプX PV	内外装 外構撤去		■ガイドライン※2 ■返還期限 解体撤去																														
タイプB、C PV	内外装 撤去		■ガイドライン※3※4 ■返還期限 解体撤去																														
ランスケ、基盤インフラ 撤去、基盤整備	支障物 先行撤去						解体後敷地埋戻し												ランスケ・インフラ撤去						整地		返還調整						
大屋根リング							リユース・機械解体												基礎・杭撤去														
静けさの森	支障樹木先行撤去		各施設及び樹木撤去・移植																														
敷地返還期限																																	

※1：パビリオンタイプ A（敷地渡し方式）の工事・解体に係る ガイドライン p6 1-2. スケジュール を参照
※2：パビリオンタイプ X（建物渡し方式）に係るガイドライン（公式参加者用） p6 1-2. スケジュール を参照
※3：パビリオンタイプ B（建物渡し方式）に係るガイドライン p6 1-2. スケジュール を参照
※4：パビリオンタイプ C（共同館方式）に係るガイドライン（公式参加者用） p6 1-2. スケジュール を参照

凡例：
協会発注工事
海外PV等施工者

閉幕後の工事のスケジュール等

〈海外パビリオンの解体〉

ガイドラインで定めたスケジュールに沿って撤去・解体が進むよう公式参加者を支援する
 （例）連絡調整協議体を通じた施工環境についての情報提供

※前頁から公式参加者の工程を再掲

パビリオンタイプ		2025			2026			
		10	11	12	1	2	3	4
		10／13閉幕						
タイプA (敷地引渡し方式)	協会は敷地を割り当て。 公式参加者は建物の建築、内外装・外構工事を実施。	10／20～4／13 建物解体・外構撤去工事						
タイプX (建物（一棟）渡し方式)	協会は建物を割り当て。 公式参加者は内外装・外構工事を実施。	10／20～1／13 内外装・外構撤去工事						
タイプB (建物（連棟長屋）渡し方式)	協会は建物を割り当て。 公式参加者は内外装・外構工事を実施。	10／20～11／30 内外装・外構撤去工事						
タイプC (共同館方式)	協会は建物内の展示エリア等を割り当て。 公式参加者は展示エリア等を整備。	10／20～11／30 内装撤去工事						

〈ワンストップショップ（OSS）による支援〉

公式参加者からの各分野の相談や申請に対応する

相談件数：4月(約2,000件) 5月(約1,300件) 6月(約1,200件)
 7月(約1,100件) 8月(約 900件) 9月(約1,100件)

主な相談内容：POSの使用方法や売上管理・報告等

労働法・雇用・社会保険等の行政手続

解体へ向けた相談や展示品の積戻しにも対応



報告事項 4

「大屋根リングの活用に関する検討会」の
報告の件

「大屋根リングの活用に関する検討会」の報告について

大屋根リングを原型に近い形で活用するための残置の在り方について 令和7年9月16日 大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会

本検討会では、本年5月より4回にわたりリング残置のコストや具体的な残置方法、リユース等について検討をしてきたが、行政、経済界、（公社）2025年日本国際博覧会協会（以下「協会」という。）の総意として、大屋根リング（以下「リング」という。）は「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表す大阪・関西万博会場のシンボルとなる建築物であり、レガシーをわかりやすく残すという観点から、一部を原型に近い形で残置することが望ましいとの結論を得た。

- リングを原形に近い形で残置する場所については、夢洲駅からのアクセスや夢洲第3期区域（以下「3期区域」という。）で残置する場合の課題*を踏まえ、夢洲第2期区域（以下、2期区域という。）のヘルスケア跡地ゾーンの隣接地域約200m（別紙1）とする。

* 2期区域の開発が行われている間は利用者のアクセス性が低いこと、3期区域については、今後埋立工事を実施することからリングを残置したとしても一般利用までに時間を要すること等

- 2期区域における原型に近い形での残置を前提に開発事業者の募集を本年秋に行うとした場合、優秀提案者の意向を踏まえ、リング部材の健全性の点検調査の実施及び点検結果の開示を募集前に行うことを大阪市は求めたが、点検調査の実施は閉会后となるものも多く、点検結果の開示は、本年秋までには間に合わない。
- こうした状況を踏まえて、大阪府・大阪市が行う2期区域の開発事業者公募は、リング約200mと周辺エリアを除外して実施する。協会が提供するリングの部材の状態に関するデータを大阪市が確認することを前提に、リングとその周辺エリアについては、大阪府・大阪市において万博を記念する公園・緑地等として整備、維持管理することを検討し、議会の議論を経て決定する。

「大屋根リングの活用に関する検討会」の報告について

大屋根リングを原型に近い形で活用するための残置の在り方について(続き)

- リングの部材の状態の確認については、協会が行う現状把握に加えて、残置後の改修のために必要な調査を大阪市が実施する場合には、これを協力して実施する。また、市がリングを引き受けることが可能となるまでの間、協会は、調査時点よりリングの部材の状態の低下を抑制するための適切な改修及び維持管理（会場建設費の使用目的の範囲内に限る。）を実施する。
- 残置にかかる費用については、建築基準法上準用工作物とする場合と建築物にする場合に分けて見積もりを行ってきた（別紙2）。残置するリングとその周辺エリアの整備、維持管理の費用は整備・管理を行う大阪市が支出することとなるが、その財源については、以下の項目について関係者で真摯に検討し、確保する。

万博の会場運営費の剰余金が発生する場合には、これまでの万博の例も参考に、万博の資金を拠出した国、大阪府、経済界を含む関係者により、リングの整備、維持管理を含めその活用を検討する。

また、国の協力を得て地方創生交付金等の国の交付金や補助金の活用の検討、大阪府の負担の検討を行う。

経済界に対しては、残置に当たり負担を求めることはしないが、協力する個別企業を探していく。
- 協会から大阪市へのリングの引き継ぎについては、建設事業評価等の所要の手続きを終えた後、速やかに実施するものとし、遅くとも万博会場の土地の返却期限（2028年2月）までに、博覧会協会及び大阪市は責任を持って引き継ぎを終える。
- 残置の選択肢としてきた第3期区域部分の南西約350mについては解体するが、部材リユースの需要が増加していること、持続可能性の観点から最大限リユースを実施することが望ましいことに鑑み、供給量と会場建設費の制約の範囲内で可能な限りリユースを実施する。

「大屋根リングの活用に関する検討会」の報告について

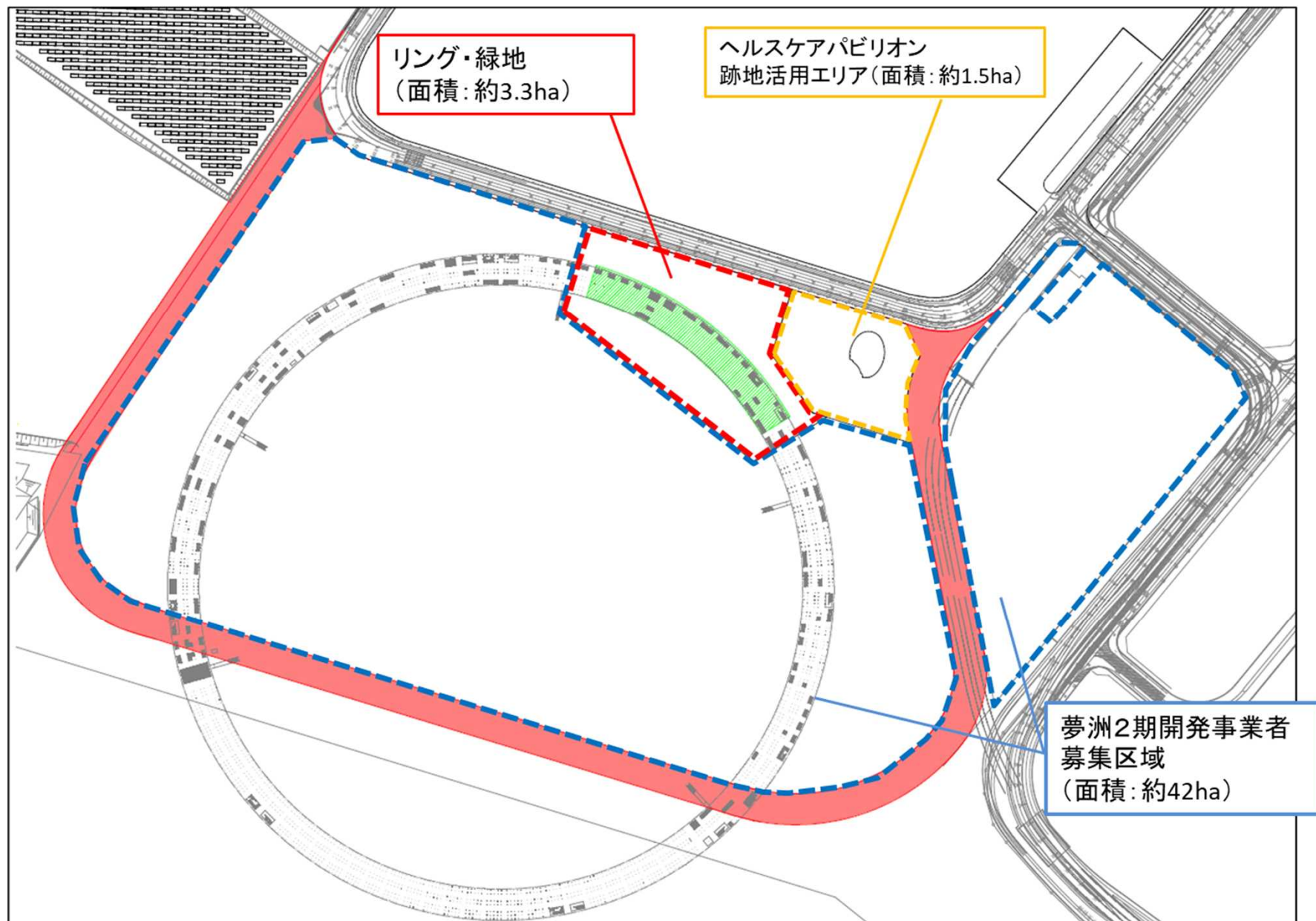
大阪・関西万博の大屋根リングの活用に関する検討会名簿

経済産業大臣	武藤 容治
大阪府知事	吉村 洋文
大阪市長	横山 英幸
日本経済団体連合会名誉会長	十倉 雅和
関西経済連合会会長	松本 正義
大阪商工会議所会頭	鳥井 信吾
関西経済同友会代表幹事	三笠 裕司
2025年日本国際博覧会協会会長	十倉 雅和
2025年日本国際博覧会協会事務総長	石毛 博行

(敬称略)

「大屋根リングの活用に関する検討会」の報告について

大屋根リングの利活用イメージ(別紙1)



「大屋根リングの活用に関する検討会」の報告について

第2期区域部分(北東部約200m)の残置に係る費用の概算結果(別紙2)

			準用工作物	建築物
対象項目の考え方			・建築基準法及び消防法上、準用工作物に求められる項目 ・利用上・管理上から最低限必要と考えられる項目	・建築基準法の一般的な防耐火規定と同等の対策(38条認定)を行うことを前提に建築物に求められる項目 ・消防法で建築物に求められる項目 ・利用上・管理上から最低限必要と考えられる項目
主な項目	改修	防耐火		(38条認定に向けた措置) > 屋外消火栓・火災報知機の設置 > 延焼遮断フレームの設置 > 屋根・天井の不燃化(歩行、植栽部、スロープ) > 放水銃の設置 > 階段・EVの複数設置
		消防法	> 屋外消火栓・火災報知機の設置	
		耐久性向上	> 木造躯体、屋根廻り等の保護塗装、雨水対策 > 木材接合金物等の保護塗装 > 基礎の防水措置	
		原型維持・利用性確保	> 構造躯体の調整(ボルト締め) > 屋根切取り部の処理、スロープ改修、手すり設置等 > 電気、給水等、各種設備の再設置 > 階段・EVの複数設置	
	維持管理(10年間)		> 定期点検・改修(構造躯体調整、保護塗装等) > 植栽管理 > 機械警備費(38条認定に向けた措置)	
概算額	総費用(税込)		約 55 億円	約 90 億円
	イニシャル		改修費用 約 40 億円 (協会がリングの部材の状態の低下を抑制するための適切な改修に要する費用を含む(会場建設費の使用目的の範囲内で支出))	改修費用 約 75 億円
	ランニング		維持管理費用 約 15 億円/10年	維持管理費用 約 15 億円/10年

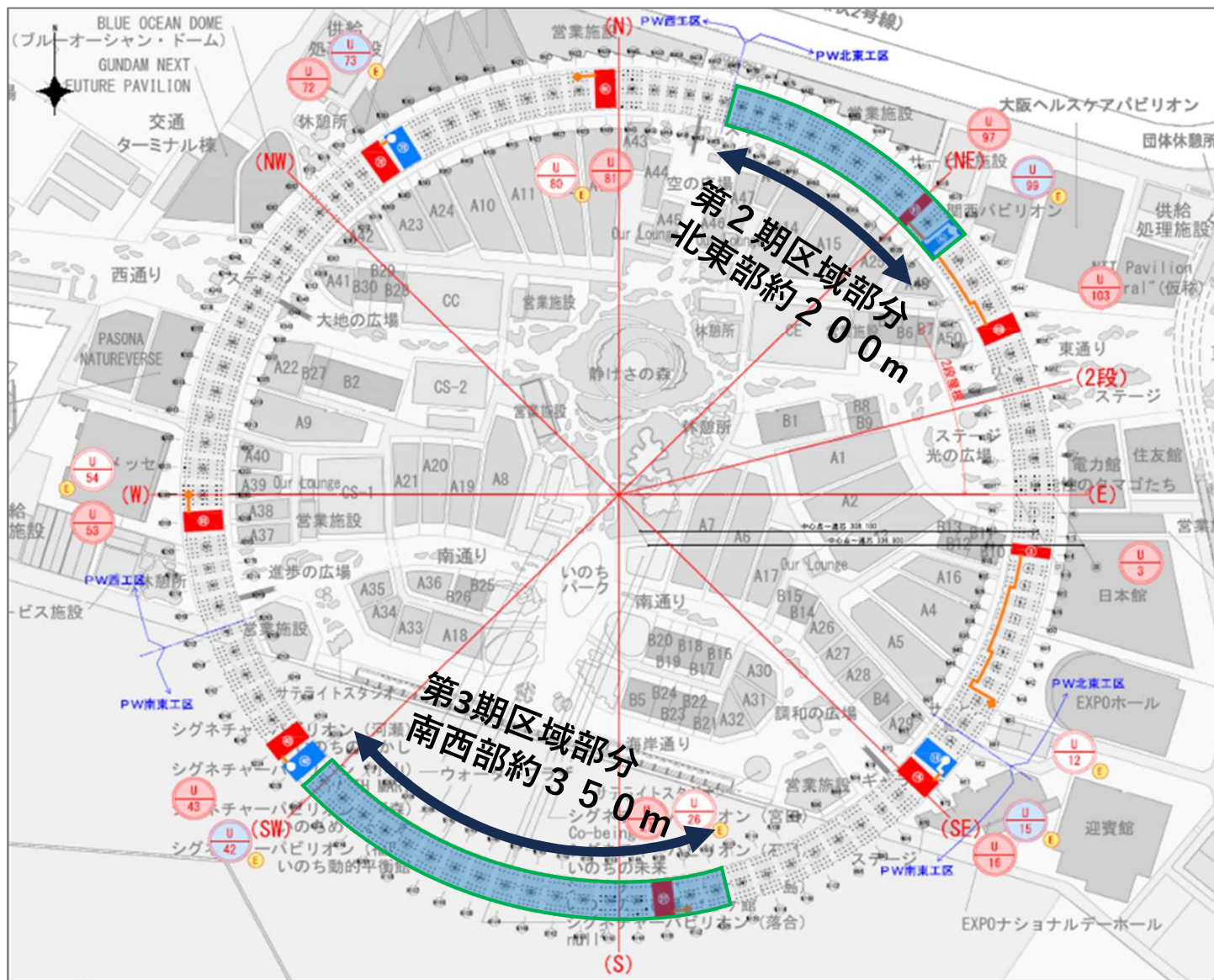
※本概算額は、府市及び国が整理した条件に基づき現有資料を用いて算出。⇒実際の改修にあたっては、詳細な調査・設計等が必要。

※材料の品質(木材・鋼材等の規格適合)や、構造部材の耐久性(腐食対策等)に問題がないことを前提に概算。

※建築物の防耐火にかかる見積り項目は38条認定を想定。実際の38条認定は計画に応じて審査される ⇒実証実験等の性能検証、官庁協議に基づき条件の再設定が必要。

※インフラ・舗装等の基盤整備、店舗等の整備費用(建築物の場合)は概算の対象外。 ※定期点検、定期改修は仮の頻度を想定し算出。

参考：大屋根リングの残置場所について



注)6/23 第3回大屋根リングの活用に関する検討会当時に検討していた残置場所

報告事項 5

協会資産（大屋根リング以外）のリユース
取り組みの件

協会資産（大屋根リング以外）のリユース取り組みについて

- シグネチャーパビリオンの施設や特徴的な設備等の移築、一部の若手建築家施設の移築については、9月から順次公募を開始している。
- 建材・設備等のリユース公募を3/10から、8回の公募を実施し、これまで613点(延べ1,078点)を出品している。
- 什器・備品のリユースについては、10月から公募を開始したところ。計2回の公募(最大4回の入札)を予定している。

年	2024						2025										2026				
							万博開催期間										解体期間				
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設等の移築																					
建材・設備のリユース																					
什器・備品のリユース																					

問合せ対応

出品⇒順次公募

出品⇒順次公募

出品⇒順次公募

協会資産（大屋根リング以外）のリユース取り組みについて

【シグネチャーパビリオンのリユース】

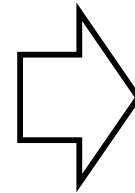
- いのちめぐる冒険(河森館)を構成する「セル」について、15セルをセットとして出品。(施設移築)
- いのちの未来(石黒館)については、アンドロイド7体及び付属品を出品。(特徴的な設備リユース)
- いのち動的平衡館(福岡館)については、クラスラ及び付属品をセットで出品。(特徴的な設備リユース)
- EARTH MART(小山館)について、萱屋根、床材を出品。(特徴的な建材等リユース)

施設の一部移築のイメージ(いのちめぐる冒険（河森館）の例)

いのちめぐる冒険（河森館）



15セルセット活用例



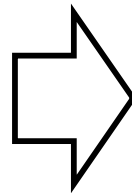
協会資産（大屋根リング以外）のリユース取り組みについて

【他の施設に関するリユース】

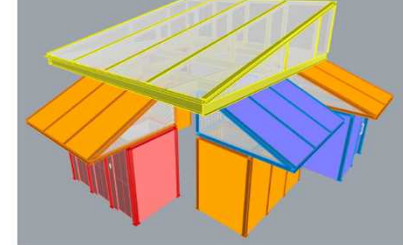
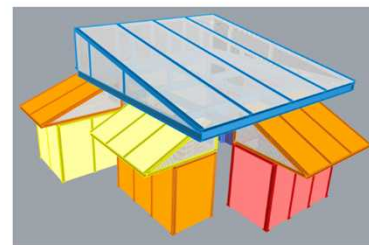
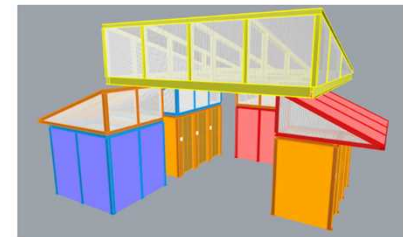
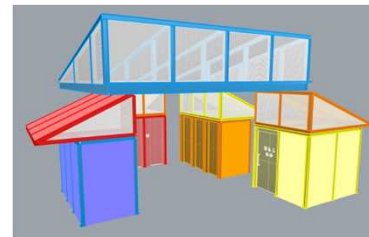
- レイガーデン(小催事場)については、LEDビジョン、天井角材、床材タイルを出品。(設備、建材リユース)
- トイレW41(トイレ5)については、4ユニット×2を出品。(施設移築)

施設の一部移築のイメージ(トイレW41の例)

トイレW41(トイレ5)



(4棟+クラウン)活用例



協会資産（大屋根リング以外）のリユース取り組みについて

【建材・設備等のリユース】

- 万博サーキュラーマーケット「ミャク市！」を立ち上げ、システム上で出品、入札管理などを行っている。
- 3/10以降、8回に分けて613点を出品し、265件の応札あり。

建材・設備等のリユース 出品物の例

落札率が高かったもの（万博特有のもの、設備類、ベンチ、照明柱など）



マンホール蓋



トイレ衛生機器



冷凍庫



消火器



照明柱



落札率が低かったもの

ILB



案内サイン



空調機器



コーヒーマシン



ベンチ



照明



椅子

協会資産（大屋根リング以外）のリユース取り組みについて

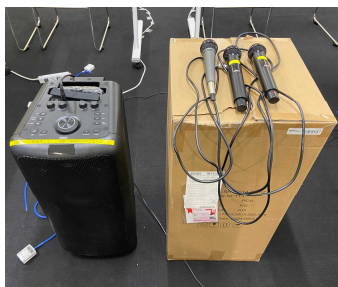
【什器・備品等のリユース】

- 解体工事を必要としない、比較的小型で軽量の協会財産(約1,000点に整理)、および公式参加者が万博で使用した什器・備品等について、10月より2回の公募(最大4回の入札)を開始。
- 建材・設備等と同様に、協会サイト(「ミyak市！」)での公募に加え、既存のECサイト(協賛者であるLINEヤフー(協賛契約手続き中)が管理するヤフーオークションを想定)も活用。

<出品予定の商品の例>

制作物(シグネチャーPV内における展示物, 造作物, ミyakミyak像 等)

ICT機器、通信機器、オフィス什器、その他備品(パラソル, 温度計, バッテリー, 時計 等)



スピーカー・アンプ



オフィス机



オフィスイス



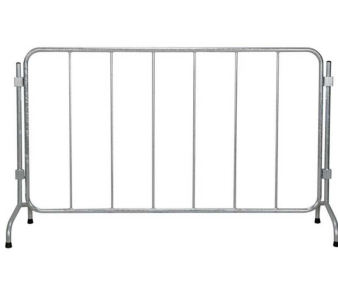
オフィス什器



カメラ



モニター



フェンス



メガホン



オフィスワゴン

報告事項 6

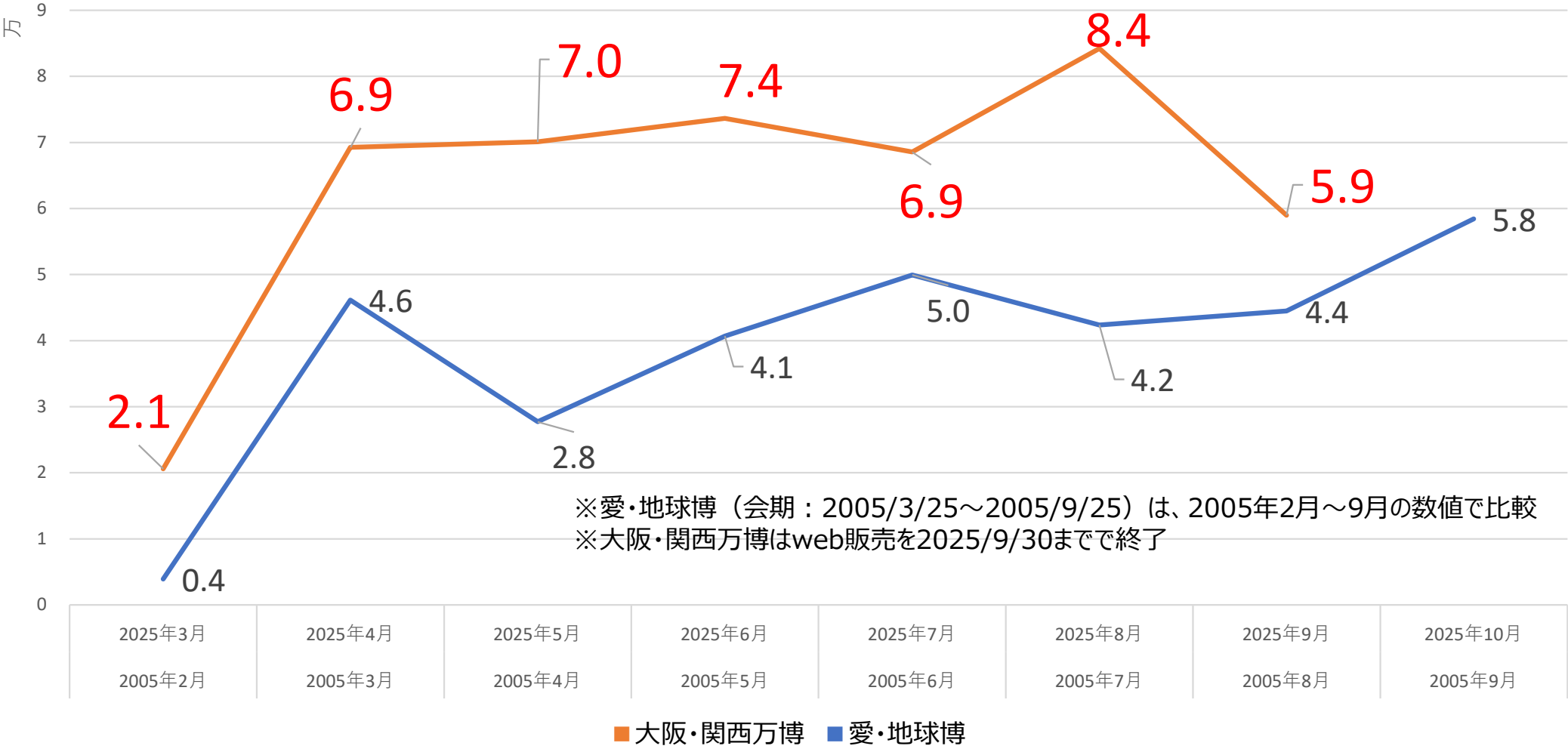
博覧会運営の総括(振り返り)の件

入場券販売状況 (2025年10月3日時点)

➤ **10/3までの入場券販売枚数は2,207万枚**（招待事業（学校団体分）4月～8月分の実績等を含む）。

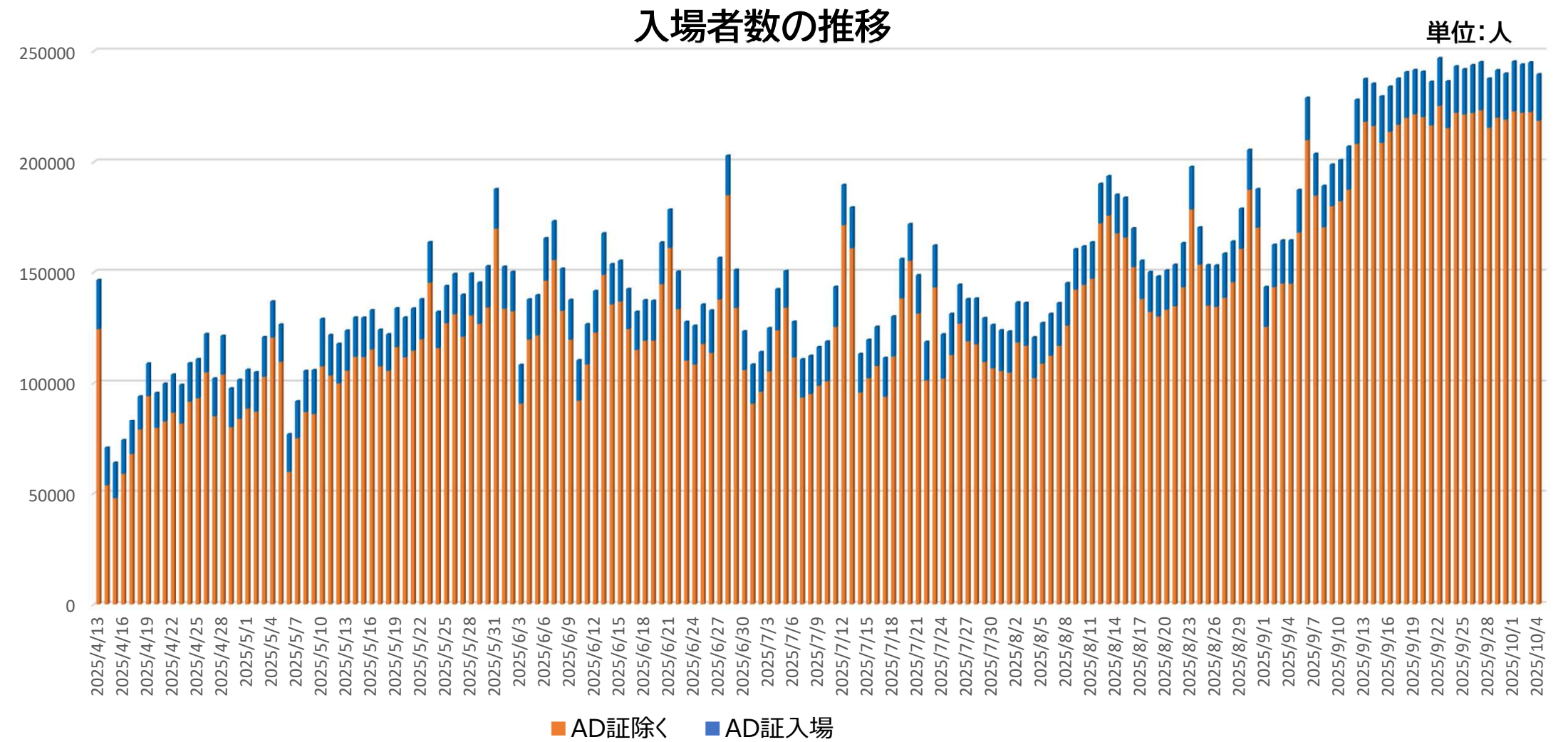
1日平均入場券販売数(単月)

(単位:万枚)



入場者数の状況 (4/13~10/4実績)

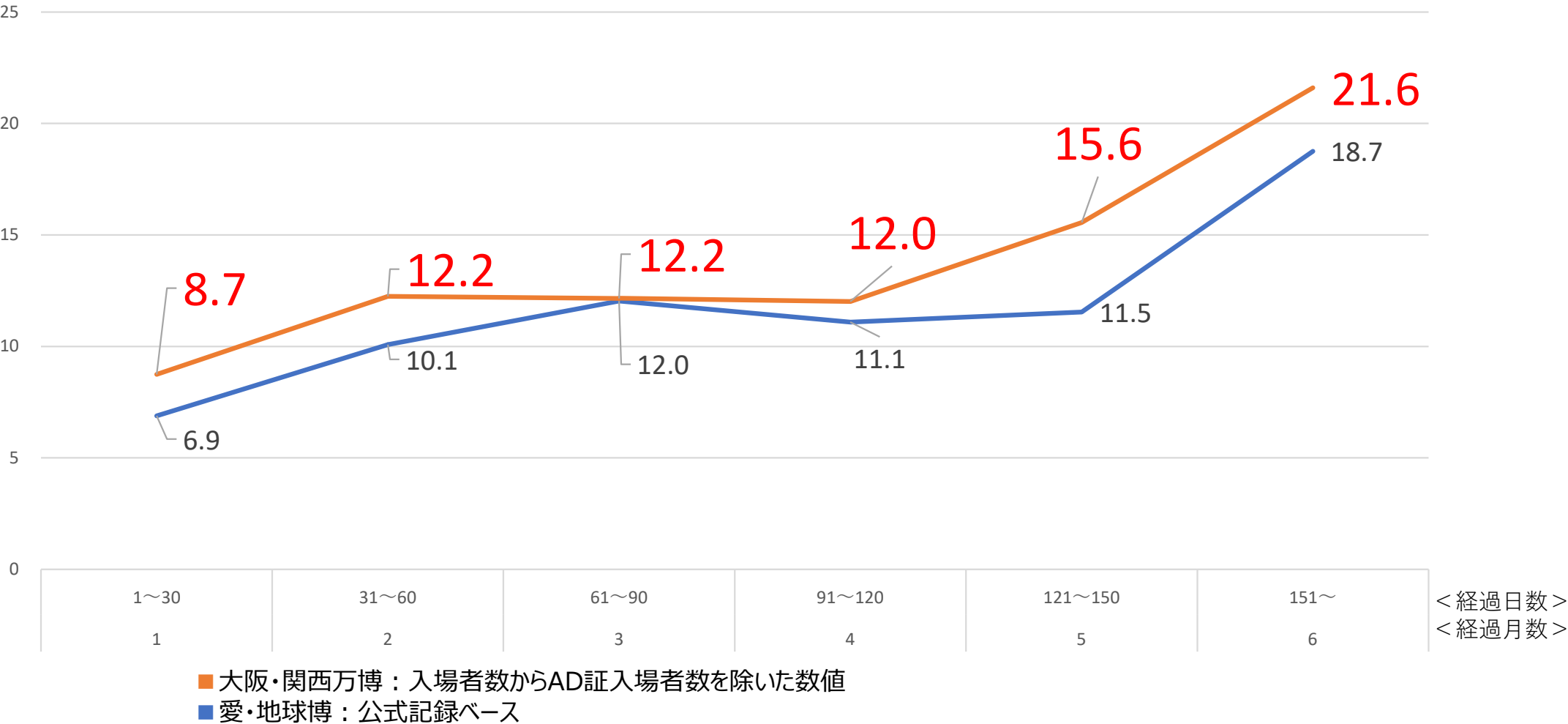
- **10/4までの入場者数は2683万人（AD証除き：2361万人）**
- **通期（4/13～10/4）の1日平均入場者数：15.3万人（AD証除き：13.5万人）**



チケット入場者数

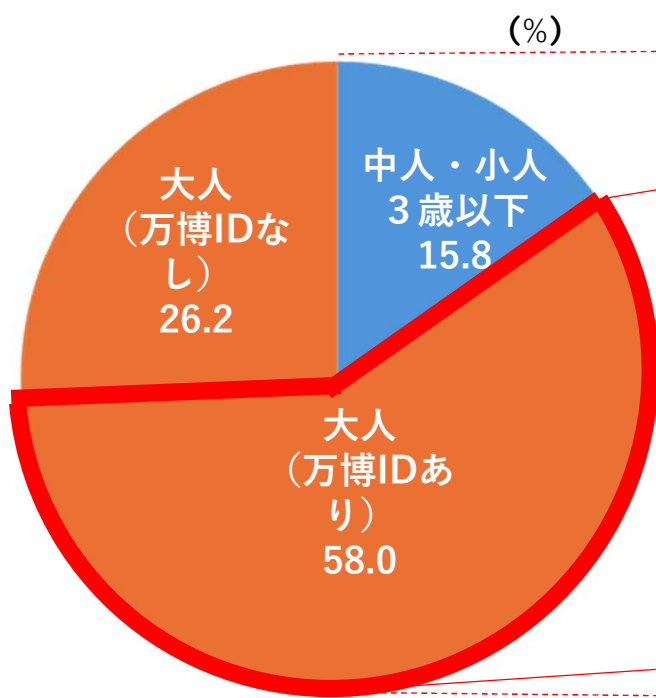
➤ **10/4**（開幕から**175**日目）までの**1**日平均来場者数：**13.5**万人（**AD**証入場者を除く）

1日平均入場者数(30日毎) (単位:万人)



(参考) 来場者属性 (開幕～9月12日)

図1：チケット券種別
来場実績



入場に使われたチケット券種

- 大人:18歳以上
- 中人:12～17歳、
小人:4～11歳、3歳以下

図2：大人券で入場された方
のうち万博IDを登録されて
いる方の年代構成比

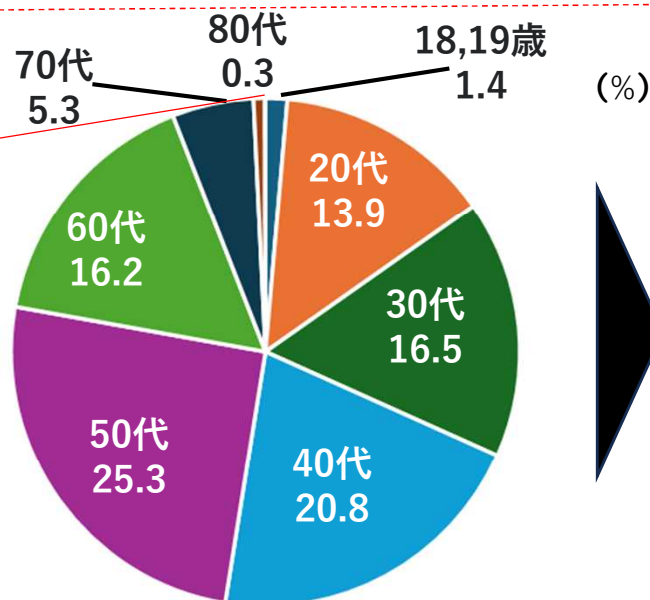
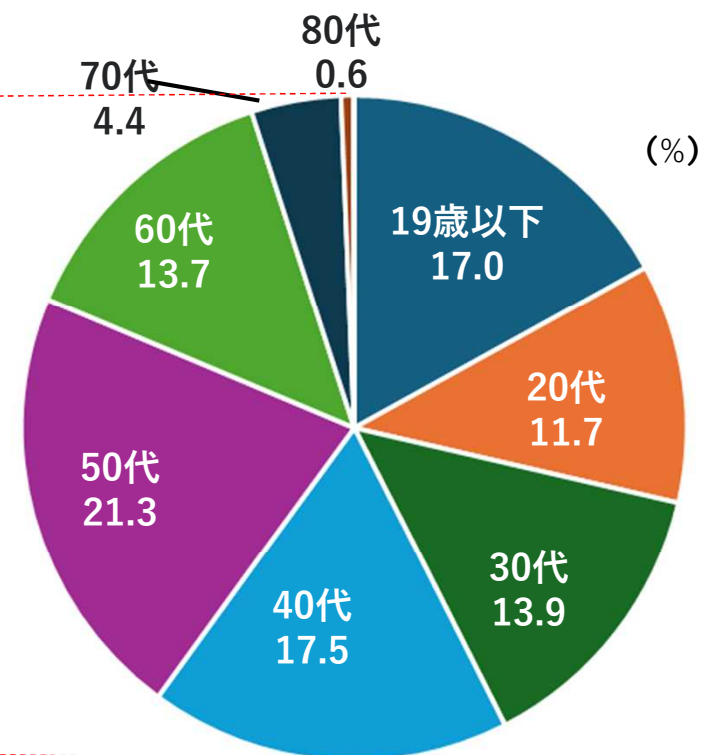


図3：チケット入場者の年代構成比
推計

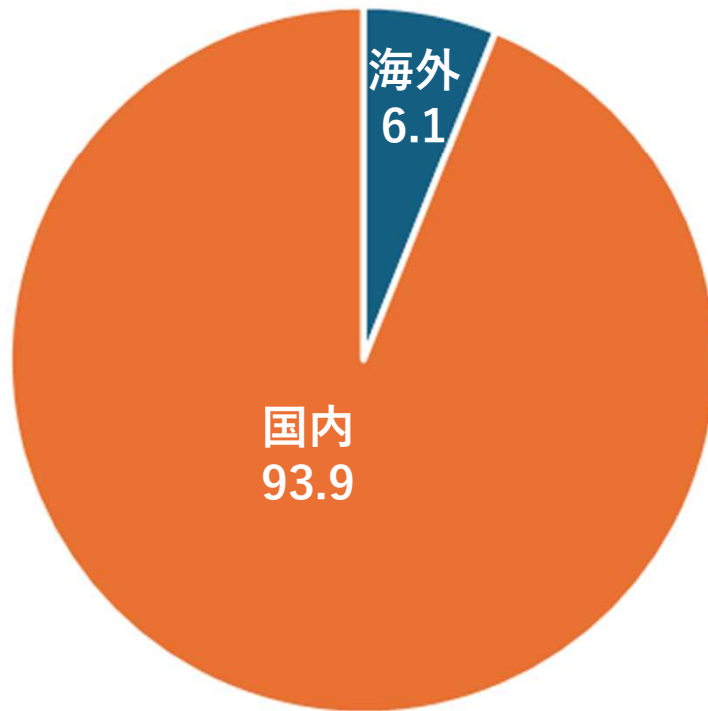


※大人券で入場された方の年代構成比が、万博IDを登録されて入場された方の年代構成比（図2）と同じであると仮定したうえで、中人・小人・3歳以下の来場割合（図1）を足し合わせることで構成比推計

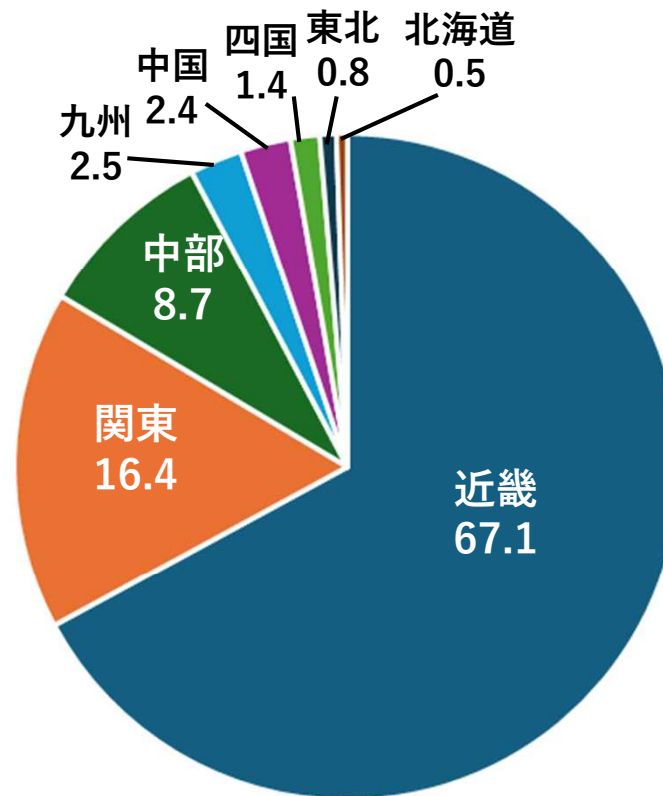
(参考) 万博IDベースでのエリア別来場者 (開幕～9月12日)

*万博IDでは居住地を選択

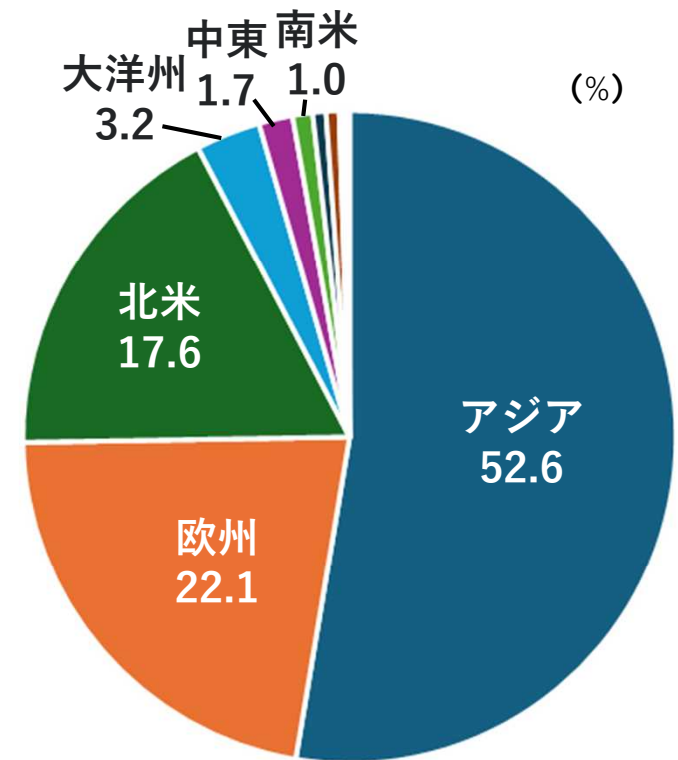
海外・国内 来場者構成比



国内



海外



✓来場実績あり
181の国・地域

国内外パビリオンや施設

➤ 会場内のパビリオン等は、毎日数多くの来場者でにぎわっている。

各パビリオン等の来場者記念の様子等



イベントの実施状況（4月13日から9月30日まで）【速報値】

➤ 連日、会場内の催事施設などで様々な主体によるイベントが実施され、盛況となっている。

催事施設など	回(日)数	集客数	主なイベント(回数)
EXPOホール	188回	338,269人	各国の音楽イベントやビジネスイベント、日本国内の地域イベント、Physical Twin Symphony(22回)、よしもと新喜劇(5回)
ナショナルデーホール	253回	144,974人	ナショナルデー・スペシャルデー(154回)
EXPOアリーナ	174回	896,576人	大阪ウィーク(春・夏・秋)、LDH DAY SPECIAL “Jr. EXILE LIVE”、Ado OPENING SPECIAL LIVE、U-NEXT MUSIC FES(6回)
EXPOメッセ	213日間	2,130,824人	未来づくりロボットWeek、Beyond 5G ready ショーケース、Japan Expo Paris in Osaka 2025、大相撲 大阪・関西万博場所
ギャラリーWEST	124日間	291,891人	ふとももEXPO(22日間)、絵師100人展(7日間)
ギャラリーEAST	137日間	375,308人	生け花の根源 池坊展(8日間)、人形浄瑠璃文楽ミニ公演(5日間)
ポップアップステージ(5か所)	864回	233,687人	USJ「ハロウィーン・ホラー・ナイト」出張イベント、海外コンサート、着物ショー
フェスティバル・ステーション	309回	272,675人	関西 12 局ラジオ合同特番「KANSAI EXPO RADIO」
ウォータープラザ(昼間)	892回	878,670人	水と空気のシンフォニー(797回)、水と空気のマジカルダンス(95回)
アオと夜の虹のパレード	259回	1,352,900人	1日2回
EXPOプロジェクションマッピング	340回	69,900人	1日2回
One World、One Planet.	171回	8,764,096人*	ドローン有(112回)、ドローン無(59回)
花火	54回	—	
パレード(公式参加国)	51回	—	
万博サウナ	735回	10,290人	太陽のつぼみ(1日5回)
その他	17回	25,646人**	1万人の第九、大屋根リング盆踊り、プラスエキスポ2025

* 来場者数のうち6割が夜間も残り、うち一定割合(ドローン有:8割、無:1割)が見たと仮定した数字 ** 集客数は、1万人の第九除く

(参考) イベントの様子

■ ジャパンデー

秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、日本文化を発信する様々なイベントを実施
(7/3)



宮内庁HPより引用



■ ナショナルデー

日替わりで、公式参加国が、自国文化に対する理解を深められるような、伝統的な音楽や踊り等を披露



モザンビーク (6/16)



カタール (7/8)



ペルー (8/9)

■ アオと夜の虹のパレード

毎日、噴水、照明、レーザーなど様々な演出が音楽と共鳴し合い、物語を体感できるショーを実施



■ 花火大会

夏休み期間中は毎日「ミニ花火大会」、9月・10月は、「EXPO Thanks 花火大会」を実施



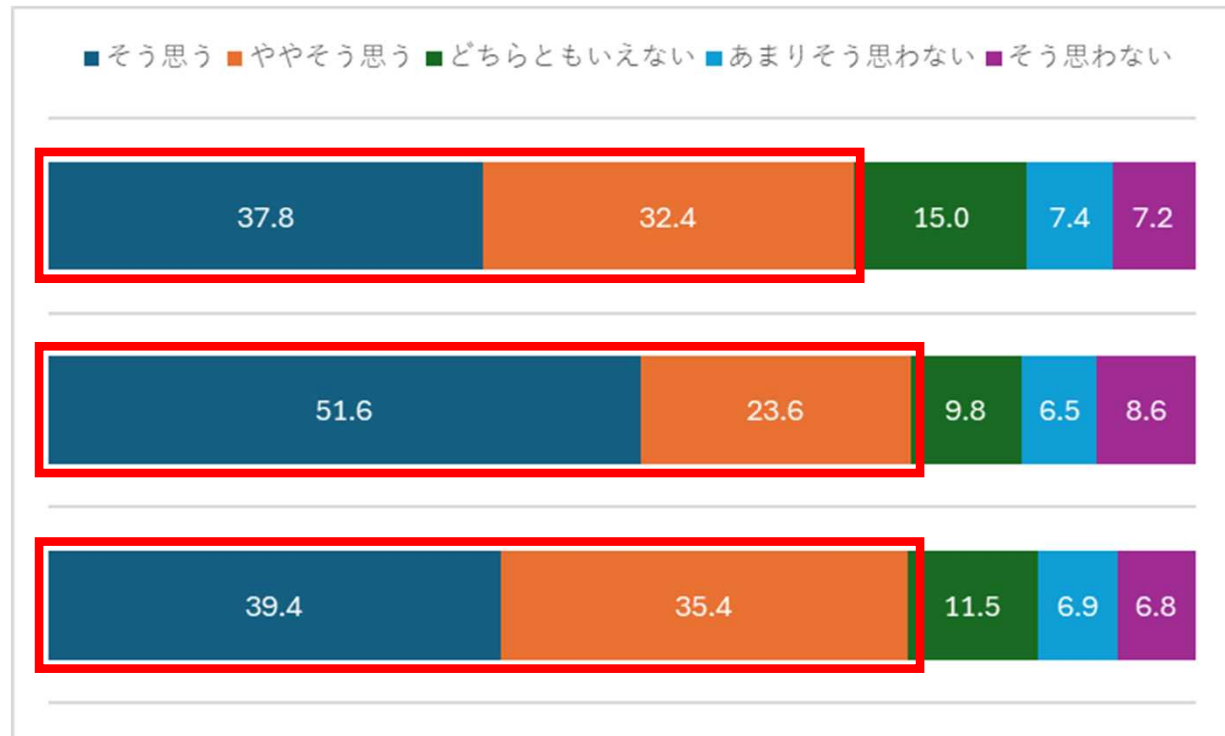
万博への推奨度・再来場意向・満足度

- 来場者へのアンケート（開幕から9月末）によると、平均7割を超える来場者から、「家族や友人等に勧めたい」、「再来場したい」、「満足した」、という結果を得ている。

【EXP0 2025大阪・関西万博】を家族・友人・知人
またはSNSで勧めたい

【EXP0 2025大阪・関西万博】にまた来場したい

【EXP0 2025大阪・関西万博】に総合的に満足度した



アンケート期間：4/13～9/30
n数：1,073,088人

(参考) 感動・喜び・満足などのお声

1. 大屋根リング：壮大で眺望が素晴らしいだけでなく、日除けや雨除けとして機能性も高い
2. パビリオン：各国の文化や先端技術に触れ、多様な体験ができて感動した
3. スタッフ：接客対応がますます洗練されており、多言語対応や障がい者への配慮もあり安心できた
4. イベント・ショー：様々なイベント・ショーや花火など、迫力と美しさで楽しめた
5. 会場全体：多くの休憩所や給水設備、ゴミやトイレの管理が徹底され快適に過ごせた

【実際の声】

- ◆ 会場全体のワクワク感が本当にすばらしい。入場後の音楽、スタッフのホスピタリティ、歩いているだけで音楽イベントに出会えたり、子供の遊び場があったりと、ずっと万博が続けばいいのにと思っています。
- ◆ 大屋根リングはシンボルと機能を兼ね備えた木造の素晴らしいものであり、日本の素晴らしい技術だと思いました。またリングで様々な人が行き交いつながれたことで世界とつながれる希望が見えました。
- ◆ 万博らしくIPS心臓など最新の技術を見ることができ、いろんな国の人や音楽や文化が知れて楽しかった。
- ◆ 未来に希望が持てる展示が多く、万博のテーマが感じられ、色々と考える機会になった。
- ◆ スタッフの対応がますます洗練されてきている。暑い中熱中症対策を呼び掛け、こまめに来場者を気遣う様子に感動。
- ◆ 大屋根リングの散歩やドローンショー、水上ショー、プロジェクションマッピングを目当てに行くだけでも価値がある。多くの楽しみや刺激をもらえる万博に感謝です。
- ◆ パビリオンの前パフォーマンスや花火など、色んなイベントがあつて何度行っても楽しめるところが好きです
- ◆ テントが配置されていたり、日傘の貸し出しがあつたりと、以前にはなかった工夫がたくさんあつて、来場者のために運営の皆様が日々試行錯誤されていることを感じ、うれしく思いました。

運営課題への対処例（入退場関係）

➤ 万博IDや予約状況等を基にした膨大なデータ、来場者からの声等を基にして、運営課題を毎日改善している。

1. 入場のオペレーション

（課題1）東ゲートにて、多客日（お盆休み等）を中心に、手荷物検査やQRコード確認の待ち時間が長期化。

（対応1）来場者向けに、引き続き公式WEBやSNSを通じて、**QRコード印刷やスクリーンショットの事前準備**を働きかけ。出来る限りゲート前での待ち時間を短くするため、9/13以降、東西ゲートを**10分前倒し**するアーリーゲートオープンを実施。

（課題2）メトロに乗って、会場に来る来場者が多く、東ゲート前での待ち時間が西ゲートより長い事態が常態化。

（対応2）西ゲートからの来場者を増やすべく、西ゲート予約来場者向けに、以下の取組を実施。

①6/16以降、**東ゲート前から西ゲートへの徒歩ルート**を開通。また、9/13から、利用可能時間を1時間延長（12時⇒13時）

②6/29以降、**P&R駐車場優先レーン稼働時間の12時台までの拡大**を実施。

③7/1以降、東ゲートから**西ゲートへ向かうバス**を運行開始。

④7/1以降、**桜島駅シャトルバスの始発を繰り上げる**とともに、往復双方で**大幅増便**。

⑤9/13以降、P&R駐車場利用動向を踏まえ、**舞洲P&R駐車場の新しい区画（C・D）を開設**。これに伴い、輸送手段の組み換えを弾力的に実施。

2. 退場のオペレーション

（課題1）6/28に、初めて来場者20万人を突破。西ゲートにて、桜島駅シャトルバスへ乗れなかった来場者が100人程度発生。加えて、タクシー乗降場で、アプリタクシーと一般タクシーの乗降において混乱が発生。

（対応1）7/15以降、タクシー乗り場の分散を図るべく、**アプリタクシー乗車バースを第2交通ターミナルに変更**。また、大規模な花火開催日など多客日を念頭に、**桜島駅シャトルバスを完全予約制にし、滞留を抑止**。

（課題2）8月前半までは、特に多客日は東ゲートから退場する来場者が夢洲駅に殺到しないようにするため、駅まで蛇行する徒歩ルートにしていた。

（対応2）8月後半以降、退場時のゲート数を状況に応じてコントロールすることで、**ゲート外での導線をシンプル**にした。

（課題3）花火や水上ショーを見て帰る来場者が、夜のイベントが終わる20時頃に集中し、分散退場の取組が必要。

（対応3）9月以降の「**EXPO Thanks 花火大会**」について**開始時間を前倒し**した。

運営課題への対処例（暑熱対策、パビリオンの予約案内・長い待機列への対応等）

3. 暑熱対策

（課題）一般的に、暑さ指数（WBGT）が28（厳重警戒）を超えると熱中症患者が著しく増加するとされており、夢洲においても、6月の梅雨あたりから、その条件に当てはまる状況となり、診療所・応急手当所に来られる来場者数が増加傾向となった。

なお、救護施設に来所された方のうち、平均すると毎日8割以上が、医師の診断や処置を必要とせず、安静のみで退所されているという状況であった。

（対応）6/16に公表した、「日陰の創出・送風設備・給水設備の充実」「来場者サービス充実」「医療・救護体制の整備」の**3本柱からなる「暑さ対策」を着実に実施**。具体的には①**日陰の創出**（東西エントランス広場におけるテントの設置、東エントランス広場における日傘の貸し出し）②**休憩場所の確保**（動線・日陰を考慮したリング下ベンチの再配置）③**体調不良者への対応**（東エントランス広場における一時休憩所の設置、医療救護施設からの自力での帰宅が困難な方のゲート等への送迎支援）④**飲料等の配布**（イベントでの飲料配布、塩分タブレットの配布）等を実施した。加えて医療救護対策実施計画で定めている医療体制について、**看護師を7/1に5名増員し、さらに8/1にも5名増員し、強化した**。

4. パビリオンの予約案内・長い待機列への対応等

（課題1）来場者が増えるにつれ、待ち列が長蛇の列となるパビリオンができ、当該パビリオン付近の導線混乱が発生。

（対応1）待ちスペースが特に少ないパビリオンについて、**予約システムの導入を奨励**したり、**別の場所に待ち列を形成できるように**関係者との調整を実施。

（課題2）パビリオン予約などのためチケットサイトへのアクセスが集中、ログイン時の待ち時間が長くなる、エラーが生じるといった事態が発生。

（対応2）**システムの機能強化**に加えて、チケット購入、来場日時予約やパビリオン予約などの**サイト上の待合室を別々とする**ことなどにより、来場者の増加等とともにアクセス数が急増する中でも**システム全体がダウンしないことを最優先**としつつ、可能な限り待ち時間を圧縮。

（課題3）8月下旬、パビリオン予約等を行うために、自動化ツールを用いるなどしてサイトに過度なアクセスを行ったことで、**入場時のQRコード表示やパビリオンの当日登録ができなくなる**などの多くの来場者に悪影響を与える事象が生じた。

（対応3）規約に基づき、**チケットサイト運営を妨害する行為には、万博IDとチケットIDを利用停止**することとし、8/28に今後の類似案件が発生しないよう、**自動で過度なアクセスを試みるツール等を利用に対する注意喚起を実施**。

運営課題への対処例（来場時間・時期の分散、西ゲート付近の賑わいの醸成、シオユスリカ対策）

5. 来場時間・時期の分散

（課題1）8月頃までは、午前中の来場予約枠から順次埋まり、午後以降の予約枠には比較的余裕がある状況が続いた。

（対応1）夜間券での1時間前倒し入場を継続すると同時に、夏休み期間中は毎晩花火大会を開催、夏限定イベントも多数実施。

（課題2）過去の万博の実績から、会期終盤には多数の来場者が見込まれ、来場予約枠の枯渇と会場内の混雑が懸念された。

（対応2）会期終盤の駆けこみを避けた早期来場予約を、7月末と9月上旬など複数回呼びかけ（会見、公式WEB、SNS、新聞広告、経済団体経由やチケット大口購入企業への個別連絡での周知等）

8月下旬に、公式WEBでの日時指定チケットへの絞り込み、通期パス・夏パスの販売停止。

9月下旬に、公式WEBでの新規チケット販売停止、未利用チケットの当日券交換を開始。

6. 西エリアの賑わいの醸成

（課題）西エリアに訪れる来場者が、リング内などの他のエリアと比較すると少ない状況。

（対応）西ゲートの魅力を高めるような様々なイベントや取組を実施。

① 7/18以降、人気の「ミyakミyakぬいぐるみくじ」を、西エリアにくじ機の台数等を拡大して移転。ミyakミyakのグリーティングも実施。

② 7/19以降、西エリアのフューチャーライフゾーンに夕焼けを見ながら、フードやドリンクを楽しむことができる「EXPOサンセットピアテラス」をオープン。

③ 7/30以降、ミyakミyakの大型モニュメントを大阪市役所前から西ゲート付近に移設し、新たな西エリアのフォトスポットに。

④ 9/17、西エリアのフューチャーライフゾーンに来場者に自由に演奏いただける、ミyakミyakをデザインした「ストリートピアノ」を設置。

7. シオユスリカ対策

（課題）羽虫（シオユスリカ）が9月以降に会場内に再度大量発生の見通し。

（対応）有識者で構成される防虫委員会の意見を踏まえ、9/13、「第5回ユスリカ等対策本部」において今後の対応方針を決定。実験室等での検証の結果、大規模な水域である「つながりの海」に効果のある濃度になるように均一に薬剤を行き渡らせるのは困難で、十分な効果を得られない可能性が残るため、薬剤の投入は実施しないこととなった。その一方で、壁面等への忌避剤塗布などの、各施設におけるシオユスリカ侵入防止の徹底等を実施。

運営課題への対処例（レジオネラ属菌にかかる対応、大阪メトロ中央線運行支障に伴う対応）

8. レジオネラ属菌にかかる対応

- （課題 1）迅速に評価を行うことのできる生菌PCR法を用いてウォータープラザの水の検査を行ったところ検出されたレジオネラ属菌が指針値以上であったため、6/4以降、水上ショーを中止。
- （対応 1）公的機関で採用されている培養法によるレジオネラ属菌の検査を継続して実施したところ、**「レジオネラ症防止指針」の指針値を超えるレジオネラ属菌は検出されなかったため水上ショーを再開**。再開にあたり、ウォータープラザの水質管理のために、**培養法による検査を継続**するとともに、**海水循環の増強**と定期的に**必要最小限の量の塩素の投入**を決定。結果、現時点まで、指針値を超えるレジオネラ属菌は**検出されていない**。
- （課題 2）5/28、静けさの森水盤において「レジオネラ症防止指針」の指針値以上のレジオネラ属菌の検出報告を受け、5/30から利用停止。
- （対応 2）3つある水盤うちの1つについて、**6/7に水盤施設の清掃・消毒を実施**し、培養法によるレジオネラ菌の検査を実施した。検査の結果、**指針値を超えるレジオネラ属菌は検出されず**、残留塩素濃度管理の試行を行い問題なかったため、**7/11より利用再開**。

9. 大阪メトロ中央線運行支障に伴う対応

- （課題）8/13に大阪メトロ中央線の一部区間が運行停止となり、その際の協会の対応について検証を行ったところ、以下3点の課題があった。
- ①情報発信のタイミングや内容選定、発信方法、②会場内に留まる来場者へ提供するサービスや会場内待機以外の選択肢の検討、③協会内危機管理体制の整備、協会外の関係者との連絡体制の再確認。
- （対応）①来場者目線で欲しい情報をタイムリーに発信できるよう、事案発生後、**速やかに情報発信の責任者を任命**。公式WEB、X、Visitors、場内アナウンス等で**なるべく同時に、日英で頻度を増やして発信**。東ゲート「MEGA CANVAS（メガキャンバス）」においても、**緊急時に来場者に対して各種情報を提示**。②来場者の滞留場所となり得る場内施設との**事前協議を実施**。災害対応に早期に切り替えることで、場内に留まる方に物資やサービスを迅速に提供。自家用車でのピックアップについて、**舞洲P&R駐車場や障がい者用駐車場を活用すること等の代替交通手段に関する運用を整理**。③**交通障害時にも、災害対策本部を設置することとする**。また、**大阪府・大阪市へ一時滞在施設などの協力要請をする**とともに、メトロなどの関係機関との連絡体制の再確認、有事の対応に関する認識合わせ。

運営課題への対処例（自然災害時の情報発信、雷対応、暗所・段差対応）

1 0. 自然災害時の情報発信

- （課題）7/30にカムチャツカ半島付近を震源とする地震による津波が発生した。大阪府の津波注意報に関する情報も踏まえて、協会内で発表内容の調整と作業をしたが、結果として、その作業が遅れ、「会場はかさ上げされているため安全であり、通常通り営業している」旨の発表が津波到着予想時刻よりも7分遅くなった。
- （対応）9/5に大阪府に台風15号の接近が予想された際には、鉄道会社と連携の上、接近予想日の数日前から、関係者や来場者に複数の発信ツールで頻繁に情報提供を行った。

1 1. 雷対策

- （課題）落雷への対応については、防災実施計画を踏まえ、運営の実態に応じた改善を逐次行うことが必要であった。
- （対応）来退場時に待ち列が発生する東西のエントランス広場への対応のため、避雷設備を追加設置し、来場者のさらなる安全確保を図った。また、チャットツールを活用し、雷雲接近情報や対応内容等を各パビリオンに迅速に伝達することとした。加えて、公式参加国に雷雲接近時の対応フローを説明し、各パビリオンにおける具体的な対応依頼を行った。

1 2. 暗所・段差対応

- （課題）来場者より、「暗所が危険」「段差が分かりにくく危ない」といった声が寄せられ、懸念となっていた。
- （対応）静けさの森周辺や東エントランス広場に設置照明を追加設置した。また、段差のある箇所には注意喚起の掲示を設置したほか、碎石の補充や、植栽帯への土や植栽の補充など、日々対応を実施し事故防止に努めた。

1 3. 会場内の施設案内

- （課題）会場内トイレの中にトイレだと一目ではわかりにくい施設があった。
- （対応）6月までに行ったトイレ案内板約70箇所の会場内配置に加え、一目でトイレだとわかるように7月中旬にトイレの大きいピクトサインを壁や床に追加で貼った。

万博を契機とした外交

- ナショナルデーを中心に、海外から国王や皇太子をはじめとする王族や大統領、首相等の国家元首級を含む多くの要人が博覧会会場に来訪。日本政府は、会場内外で、様々なレベルでの「万博外交」を行っている。

○ナショナルデーには、国王・皇太子や大統領・首相等の国家元首級が**47名参加**。（9月15日時点）

参考：愛・地球博 **32名**（会期中通算）

○ナショナルデー以外にも、リトアニア、フィリピン、コロンビアの大統領、オランダ、ルクセンブルク、アイルランド、ポルトガルの首相等、多くの要人が来訪。

<王族やその他の国家元首級が参加したナショナルデー>（9月15日時点）

※1カ国で複数の国家元首等が参加したものあり

4月14日(月)	トルクメニスタン<大統領>
4月18日(金)	トンガ王国<皇太子>
4月24日(木)	デンマーク王国<国王>
4月28日(月)	パラオ共和国<大統領>
5月3日(土)	サンマリノ共和国<執政(国家元首)>
5月7日(水)	ヨルダン<皇太子>
5月10日(土)	ギニアビサウ共和国<大統領>
5月12日(月)	チリ共和国<大統領>
5月14日(水)	スウェーデン王国<国王>
5月18日(日)	ブルガリア共和国<大統領>
5月19日(月)	パラグアイ共和国<大統領>
5月20日(火)	ラトビア共和国<大統領>
5月21日(水)	オランダ王国<国王>
5月23日(金)	オーストリア共和国<大統領>
5月24日(土)	ハンガリー<大統領>
5月25日(日)	タンザニア連合共和国<首相>
5月26日(月)	モンテネグロ<首相>
5月29日(木)	アイスランド<大統領>
5月30日(金)	ルクセンブルク大公国<大公>
6月3日(火)	エスワティニ王国<首相>
6月9日(月)	グアテマラ共和国<大統領>
6月10日(火)	ギニア共和国<首相>
6月11日(水)	コソボ共和国<大統領>

6月12日(木)	フィンランド共和国<大統領>
6月16日(月)	モザンビーク共和国<首相>
6月20日(金)	ドイツ連邦共和国<大統領>
6月28日(土)	モナコ公国<モナコ公>
6月29日(日)	バチカン市国<国務長官(首相相当)>
6月30日(月)	コンゴ民主共和国<首相>
7月1日(火)	レソト王国<国王>
7月10日(木)	アルジェリア民主人民共和国<首相>
7月16日(水)	ジンバブエ共和国<大統領>
7月21日(月)	パプアニューギニア独立国<首相>
7月24日(木)	チェコ共和国<大統領>
7月31日(木)	ミクロネシア連邦<大統領>
8月2日(土)	マリ共和国<首相>
8月3日(日)	ベリーズ<首相>
8月9日(土)	ペルー共和国<大統領>
8月25日(月)	セネガル共和国<大統領>
8月28日(木)	東ティモール民主共和国<大統領>
8月31日(日)	モルドバ共和国<首相>
9月3日(水)	オーストラリア連邦<総督>
9月5日(金)	アルメニア共和国<首相>
9月6日(土)	パナマ共和国<大統領>
9月10日(水)	スロバキア共和国<大統領>
9月15日(月)	セルビア共和国<大統領>

万博を契機としたビジネス交流

- 万博期間中、海外の賓客は、日本企業とのビジネス交流も活発に行っている。

ビジネス交流例（Visionary Exchange）

テーマウィークアジェンダ2025関連プログラムの「Visionary Exchange」は、公式参加者のビジネス代表団が参加できる、国際的な議論・交流の場。これまで5月16日、6月27日、9月18日の3回開催し、国を超えた公式参加者や産官学の招待者約350名が参加し、英語で双方向のディスカッションとネットワーキングが活発に行われ、国際色豊かな万博らしいビジネス交流の機会となった。

第1回「未来のコミュニティとモビリティ」ウィーク
5/16（金）10:30～13:30
場所：EXPOサロン

・参加した公式参加者のビジネス代表団：リトアニア、英国、カナダ、シンガポール、ブラジル、UAE、ラトビア、オーストラリア、ハンガリー、ISA（10か国・機関）
※リトアニアは産業イノベーション大臣がスピーカーとして参加
・スピーカー7名（6か国1機関）、総出席者数93名

第2回「健康とウェルビーキング」ウィーク
6/27（金）10:30～13:30
場所：EXPOサロン

・参加した公式参加者のビジネス代表団：オーストラリア、UAE、ブラジル、ラトビア、ルーマニア、チェコ、オランダ、ベルギー、スイス、英国、ハンガリー、マルタ、ポーランド、ガボン（14か国）
・スピーカー9名（9か国）、総出席者数140名

第3回「地球の未来と生物多様性」ウィーク
9/18（木）10:30～13:30
場所：EXPOサロン

・参加した公式参加者のビジネス代表団：ASEAN、英国、オーストラリア、サウジアラビア、サンマリノ、シンガポール、ブラジル、ハンガリー、UAE（9か国・機関）
・スピーカー7名（6か国1機関）、総出席者121名



報告事項 7

大阪・関西万博 IP の活用状況と今後の件

大阪・関西万博 I P の活用状況と今後について

1. 公式ライセンス商品の販売状況

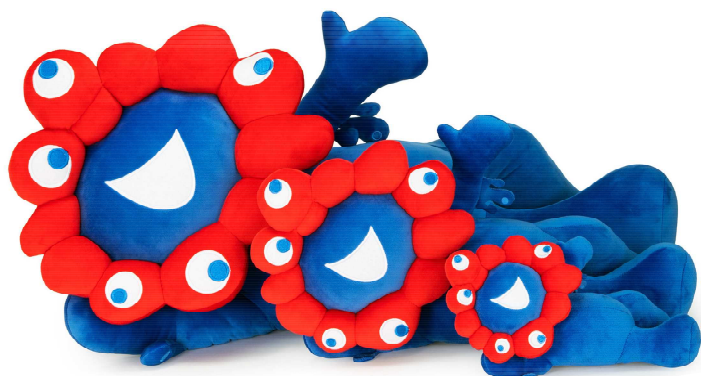
○製造事業者は約400社

○会場外オフィシャルストア全国24店舗（EC含む）

会場内オフィシャルストア4店舗、サテライトストア16店舗（会場内計20店舗）

○8月末時点で総売上約800億円。

○公式ライセンス商品の売れ筋商品は次のとおり



ミャクミャクぬいぐるみくじ



カプセルフィギュア



黒ミャク

◆コラボ商品◆

ICOCA
(イコちゃん)



サンリオ



大阪・関西万博 I P の活用状況と今後について

2. 大阪・関西万博 I P、公式ライセンス商品の今後について

○大阪・関西万博 I P (ロゴマーク、ミyakumiyaku、デザインシステム、大阪・関西万博の名称) について、商品へのライセンスや協賛者・出展者、政府・自治体・関係団体等による使用期限をこれまで閉幕 10 月 13 日までとしていたところ、経過措置として、来年 3 月末まで継続することとしている。(9 月上旬までに順次通知済み)

○その上で、ミyakumiyakuをはじめとした I P は、いのち輝く未来社会のデザインをテーマとした大阪・関西万博の顔として定着し、引き続き人気が高く、日本各地での地域活性化にも一役買っていることから、以下の場合には、2026 年 4 月以降も商品ライセンスや政府・自治体・関係団体等による I P 使用(商用は有償。非商用は原則無償で検討中。)を可能とすることとしたい。

【大阪・関西万博 I P の使用可能範囲】

- ①大阪・関西万博を記憶に刻み、理念の継承・発展に資するもの
- ②SDGs (持続可能な 17 の開発目標) の推進に資するもの
- ③地域活性化に資するもの

※なお、2026 年 4 月以降「大阪・関西万博」の名称・呼称は非商用の使用に限り無償使用とする方向で検討中。

3. 事業実施手法

○現行のライセンス運営管理業務委託と同様に外部委託により運営予定

報告事項 8

財務状況の件

運営費の執行状況について

運営費の執行状況（2025年9月末）

（単位：億円）

執 行 項 目		契約済(2025年9月末)	今後の予定				総合計
			会期中までに実施した事業に係る精算等		閉幕後から協会清算までの運営費		
			金額	予定額	主な内容	予定額	
会場管理費		363	17		12		392
	会場運営管理・来客対応費	194		・光熱水費 ・来場者サービス、会場内清掃業務等		・光熱水費	
	ICT関連費	169		・賓客対応 ・委託業務の精算（スタッフ残業代） ほか		・ICT-PF関係 ほか	
事業運営費		128	4		0		132
	共創事業費	28		・催事管理センター運営、主催者催事等 ・公式参加者、BIE対応関連費 ほか		—	
	テーマ事業費	40					
	催事費	39					
	住宅・公式参加国関係費	21					
営業関係費		86	3		6		95
	広報宣伝費	29		・メディア広報 ・総合コンタクトセンター業務 ほか		・ホームページ運営、サーバ維持管理 ・メディア広報 ・公式記録作成 ほか	
	入場券関係費	57					
輸送管理費		186	65	・桜島シャトルバス対策（運行補助） ・P&R駐車場（赤字補填） ほか	0	—	251
管理関係費		147	19	・職員人件費 ・オフィス賃料 ・物品等の処分及び弁償に係る費用 ほか	124	・閉幕後の人件費 ・租税公課（消費税等） ・BIEへの追加納付 ・オフィス賃料 ほか	290
合 計		910	108		142		1,160

執行率(9月末)

78.4% ※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わらうもの

※2 一部、内訳端数調整有

運営費の収支見込

資金計画（2024年2月）

収入（億円）		支出（億円）	
入場券売上	969	運営費	1,160
その他収入	191		
運営費収入計	1,160	運営費支出計	1,160



収支見込（2025年10月）

収入

- 災害等予見外事象が無ければ、入場券売上・その他収入（ロイヤリティ収入・ライセンス収入等）については計画値**1,160**億円から約**+230**億円となる見込み（注）。

支出

- 協会は**2027**年度まで解体・撤去作業もあり存続することから、会期後ランニングコスト等も踏まえて算出。
- 会期中は予見外の赤字（**P&R**駐車場事業ほか）はあったが、他の支出削減で対応。
- 会期中業務の精算、閉幕後の人件費・データ保存・租税公課等今後精査が必要なものがあるものの、支出総額は計画値**1,160**億円から最大**▲50**億円となる可能性有り（注）。

（注）収入・支出は現時点の見込であり、閉幕後の精算等でいずれも変動する可能性有

会場建設費の執行状況について

会場建設費の執行状況について（2025年9月末）

（単位：億円）

執 行 項 目	契約済			今後の予定		執行予定額
	金額	主な内容	前回比 (2025年5月末)	小計	主な内容	
大工区	1,262		+19	128		1,390
PW北東工区	353	・大屋根（リンク） ・パビリオンB、C ・管理施設、ゲート施設等の整備 ・メタン対策 ・附帯整備 （各種サイン・舗装・休憩所等）	+4		・各施設解体工事変更対応 ・リユース対応 ・会場基盤撤去工事 他	
PW南東工区	293		+10			
PW西工区	331					
GW工区	165					
静けさの森工区等	34					
会場附帯施設等整備	64		+0.4			
会場施設等維持補修業務	17		+0.6			
会場基盤撤去	5		+4			
主要施設	287			+0		7
大催事場	93	・各施設整備		・各施設解体工事変更対応 他		
小催事場	50					
迎賓館	39					
テーマ館	53					
若手建築家施設	52		・サテライトスタジオ、休憩所等(20棟)			
土木工区	110	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、污水管、給水管、 熱供給管、電気管路、通信管路	0		▲ 1	・水道分担金還付 他
インフラ設備 (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	244	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備等	+ 1	6	・解体工事変更対応 他	250
交通施設	173	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備	0	4	・解体工事変更対応 他	177
環境評価、委託関係	61	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	+ 0.2	1	・解体工事コストマネジメント ・環境影響評価業務変更対応 他	62
合 計	2,137		+20	145		2,220
					予備費※	130
					総 計	2,350

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。
※一部、内訳端数調整有

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

※予備費執行承認済み
金額は「約62億円」。
（総計：約2,282億円
執行予定）
現時点の予備費残額は、
「約68億円」の見込。

■2,350億円の執行率： 90.9%

(参考) 前回からの進捗内容

● 前回(2025年5月末)からの執行状況+20億円について

1. 工事工程に合わせた変更契約：約14億円

(※追加に際し、資材等を実勢単価で積算又はコストマネジメントを活用し、物価高も反映済)

2. 会期中の維持補修など計画通り発注を行った新規工事等の契約締結：約6億円

※いずれも2,350億円の範囲内で執行を予定していたものであるため、会場建設費の新たな増額となるものではない。

1. 工事工程に合わせた変更契約：約14億円

(1-1) 大工区 (PW北東工区) 【約4億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW北東工区 (解体撤去)	大屋根リングのリユース解体及び必要な解体ヤード部分のランドスケープ先行撤去に係る契約変更を行ったもの	2025/8/25	1,454,264,900	1,857,854,900	403,590,000

(1-2) 大工区 (PW南東工区) 【約10億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW南東工区 (解体撤去)	大屋根リングのリユース解体及び必要な解体ヤード部分のランドスケープ先行撤去並びにスライド条項適用等に係る契約変更を行ったもの	2025/9/30	1,312,201,000	2,255,144,100	942,943,100

(参考) 前回からの進捗内容

(1-3) 大工区 (PW西工区) 【約0.06億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW西工区解体変更実施設計等業務	リユース部材の確保量変更に係る契約変更を行ったもの	2025/9/29	69,300,000	75,680,000	6,380,000

(1-4) 大工区 (会場附帯施設等整備) 【約0.08億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
休憩/催事施設内外装設備工事等 (Eグループ) (管轄施設の内外装設備工事等業務)	設備等の軽微変更に係る契約変更を行ったもの	2025/6/20	607,624,956	607,615,895	▲ 9,061
会場内喫煙所設置工事	仕様等の軽微変更に係る契約変更を行ったもの	2025/7/31	34,635,700	34,360,370	▲ 275,330
タイプC共同館(国際機関共同館・CS2館) 共用部等整備業務	暑熱対策を講じるための追加設備設置に係る契約変更を行ったもの	2025/8/29	181,911,422	184,105,152	2,193,730
タイプX整備事業 (B15解体工事)	施設の用途変更に伴う仕様の軽微変更に係る契約変更を行ったもの	2025/9/30	18,439,700	24,818,717	6,379,017
合 計					8,288,356

※上記の変更については、一部他財源を充当しているため、会場建設費対象金額を掲載。

(参考) 前回からの進捗内容

(2) インフラ設備 【▲約0.1億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日 又は執行日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
情報通信インフラ整備業務（構築業務）	通信インフラ整備完了に伴う精算を行ったもの	2025/6/3	2,997,007,739	2,996,947,129	▲ 60,610
電力引込工事負担金（精算）	電力引込工事負担金契約に関し工事完了に伴う精算を行ったもの	2025/6/13	192,654,000	158,871,240	▲ 33,782,760
会場内避雷設備設置等業務	東・西ゲート前エントランス広場の雷対策として避雷ドームの追加設置を行ったもの	2025/9/24	9,300,500	32,615,770	23,315,270
合 計					▲ 10,467,490

(3) 委託関係 【▲約0.02億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日 又は執行日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
夢洲関連事業における工事車両運行管理システムの費用負担に関する協定（精算）	大阪市等との工事車両運行管理システムの費用負担額協定の確定に伴う精算を行ったもの	2025/7/25	48,334,000	45,694,000	▲ 2,640,000

(参考) 前回からの進捗内容

2. 会期中の維持補修など計画通り新規発注を行った工事等の契約締結：約 6 億円

(1-1) 大工区（会場附帯施設等整備） 【約 0.4 億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
会場内喫煙所設置工事	喫煙所追加設置工事	2025/6/10	34,635,700
タイプX事業(コストマネジメント業務)	タイプX(協会施設5棟)解体に係るコストマネジメント業務	2025/7/25	844,800
合 計			35,480,500

※上記については、一部他財源を充当しているため、会場建設費対象金額を掲載。

(1-2) 大工区（会場基盤撤去） 【約 4 億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日 執行日	契約額
夢洲会場南東埋立地舗装等撤去工事	関係者駐車場や資材置場等として利用していた会場南東部エリア等について、アスファルト舗装や照明灯などの設置物の撤去を行うもの	2025/7/28	116,383,300
建材／設備機器等リユースマッチング事業におけるリユース解体等業務（概算契約）	リユース対象物の解体・保管・管理等業務を行うもの	2025/8/19	148,500,000
資材運搬業務	大阪市へ早期返還が必要な借用地に仮置きしている資材の移動等を行うもの（処分費精算含む）	2025/8/30 2025/9/29	407,550
樹木移植等工事	閉幕後のパビリオン撤去工事等に伴う進入路や工事ヤードを確保するため樹木移植及び設備撤去等を行うもの	2025/9/17	98,308,100
合 計			363,598,950

(参考) 前回からの進捗内容

(1-3) 大工区（会場施設等維持補修業務）【約0.6億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日 執行日	契約額
トイレ5排水ポンプ改修工事	汚水槽への異物流入による不具合に伴い排水ポンプの取替えを行ったもの	2025/6/4	1,980,000
メタンガス対策追加工事（GW工区）	メタンガス対策としてグレーチング蓋等への交換対応を行ったもの	2025/6/12	3,740,000
鋼製建具サムターン補修工事	施設扉のサムターンの補修を行ったもの	2025/6/18	93,500
小催事場ラウンジ&ダイニング羽虫侵入対策緊急工事	給気口からユスリカ侵入対策工事を行ったもの	2025/6/25	1,640,870
フューチャーライフビレッジ排煙窓緊急補修工事	排煙窓から室内へ漏水し展示物への被害が発生したことから補修を行ったもの	2025/7/7	997,975
防虫計画に基づく調査モニタリング及び防除業務	ユスリカ等の発生源対策や防除業務等を行ったもの	2025/7/7	25,806,880
メタンガス警報盤緊急修繕工事	メタンガス警報盤の不具合に伴う修繕を行ったもの	2025/7/11	1,347,665
西通りILB舗装沈下緊急補修工事	舗装沈下発生により転倒防止の観点から段差解消補修を行ったもの	2025/7/16	935,000
小催事場給湯器燃焼ガス臭対策緊急工事	施設ガス漏れ誤報対策として、給湯器から排出される燃焼ガスを屋外へ強制排気するダクト設置を行ったもの	2025/7/22	1,980,000
メタンガス対策追加工事（GW工区）その2	メタンガス対策としてグレーチング蓋等への交換対応を行ったもの（定期測定に応じて段階的施工）	2025/7/23	7,337,000
枯損樹木撤去・補植業務	静けさの森工区における枯損した樹木撤去及び補植対応を行ったもの	2025/7/30	3,300,000
休憩所2排水ポンプ改修工事	排水ポンプの不具合に即応できるように施設内の制御盤を常時点検可能な位置に移設したもの	2025/8/9	2,805,000
小催事場ビニールカーテン緊急補修工事	施設客席後方のビニールカーテンの一部破損に伴い補修を行ったもの	2025/8/25	915,200
フューチャーライフビレッジ中庭等緊急補修工事	来場者等の転倒防止対策に伴う床植栽の改善及び蛇籠内（施設壁）の枯損した植栽を復旧したもの	2025/9/18	6,765,000
西エントランス西棟排煙窓補修工事	排煙窓の不具合対応として補修を行ったもの	2025/9/22	178,200
合 計			59,822,290

(参考) 前回からの進捗内容

(2) 主要施設（テーマ館） 【約0.05億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
中島館解体工事変更実施設計業務	情勢変更に伴う工事費積算及び図面の修正等を行うもの	2025/8/1	5,272,300

(3) インフラ設備 【約1億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
静けさの森北西営業施設インフラ及び舗装整備工事（撤去工事）	営業施設に係る電気設備等のインフラ・舗装撤去工事	2025/9/9	13,200,000
無線AP追加に伴う配線工事	通信環境悪化に伴い、着券処理に支障をきたしていたことからWi-Fiの追加に係る整備工事	2025/9/16	462,000
ウォータープラザ排水ポンプ設置工事	ウォータープラザ水質維持のため循環量を増強し水流の改善を目的とした排水ポンプ設置工事	2025/9/30	87,560,000
合 計			101,222,000

(4) 委託関係 【約0.2億円】

(単位：円)

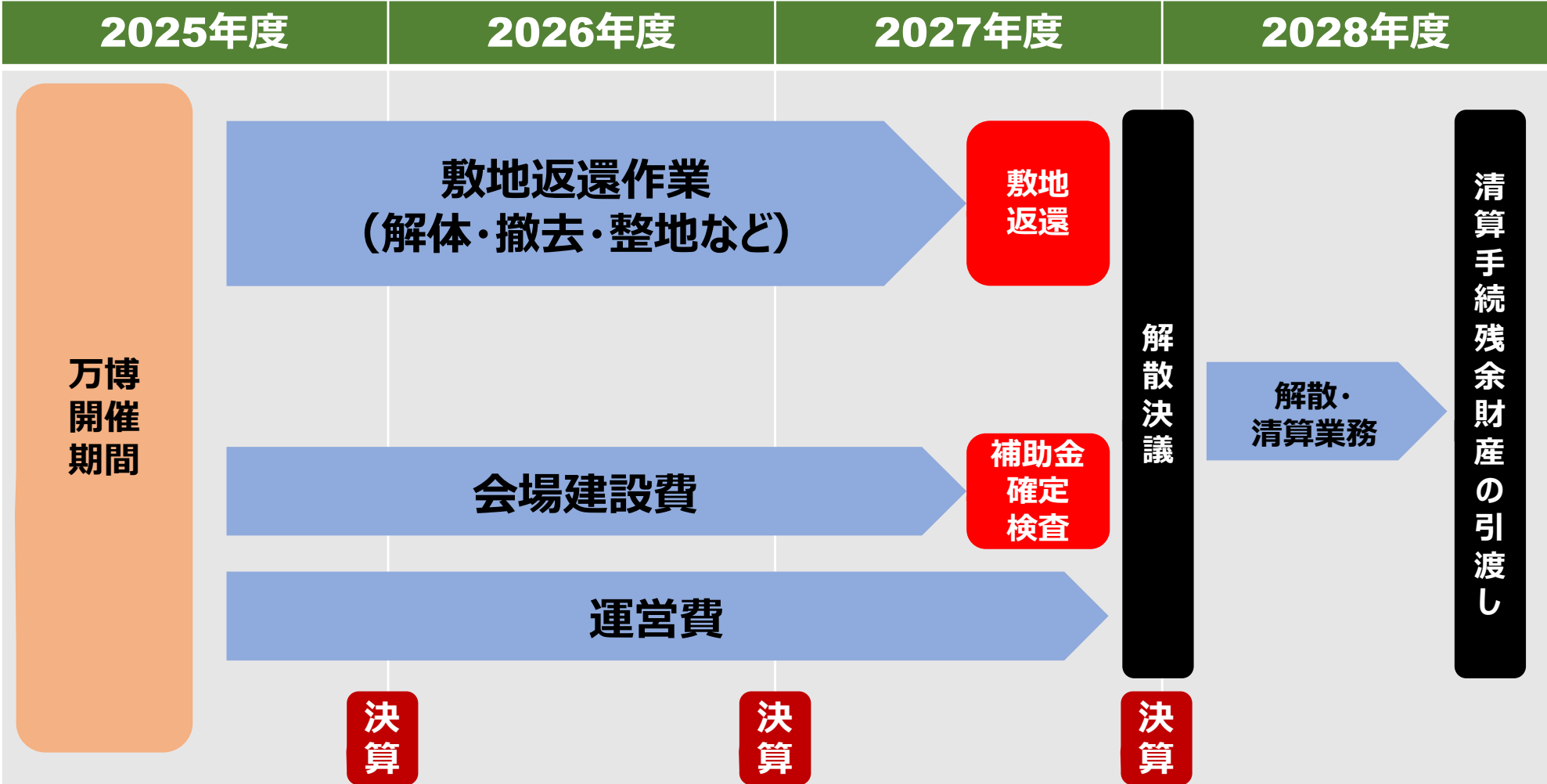
案件名称	案件概要	契約日	契約額
コストマネジメント業務（大催事場外27件 解体撤去工事段階）	各解体撤去工事に係る設計変更工事費に関するコストマネジメント業務	2025/7/25	3,377,000
コストマネジメント業務（PW3工区、GW工区 解体撤去工事段階）	各解体撤去工事に係る設計変更工事費に関するコストマネジメント業務	2025/7/25	9,790,000
大屋根リングにかかる建築基準法の法的位置付けの条件に基づいた概算費用の算定業務委託	持続可能性に向けた取組みの一環としてリング活用に係る法的位置付けに基づいた概算費用算出業務	2025/9/16	9,075,000
合 計			22,242,000

閉幕後の財務スケジュールについて

閉幕後の財務スケジュールについて

- 閉幕後においても、敷地返還作業を行うまでは博覧会協会が存続する予定であり、予算執行も継続的に行われる。
- 解散を前提とすれば**2028年度**に清算業務が発生する見込み。

<今後の財務スケジュール（想定）>



※解散を前提とした想定スケジュール。あくまで目安を示したものであり変更可能性有り。

解散後の財務スケジュール

- 解散決議後においても、清算終了まで半年以上の期間が必要。
- 残余財産の引き渡しは**2028**年度となる可能性が高い。

N	N+1ヶ月	N+2ヶ月	N+3ヶ月	N+4ヶ月	N+5ヶ月	N+6ヶ月	N+7ヶ月	N+8ヶ月	N+9ヶ月
解散決議・清算人の選任	解散・清算人選任の登記 内閣府へ解散届出		清算人会・社員総会の開催 内閣府へ残余財産引渡見込届提出			残余財産の確定 清算人会・社員総会の開催	清算事務の終了 残余財産の引渡		清算人会・社員総会の開催 内閣府への清算終了届出 清算終了登記
財産目録・貸借対照表の作成・承認					債権債務の整理				帳簿保存
解散確定申告の作成・申告			債権者保護手続		決算報告作成・清算確定申告				

【参考資料】

運営費執行管理会議資料 (**2025**年**8**月**6**日開催済分)

【開催報告】 運営費執行管理会議第 7 回について

●日時：令和 7 年 8 月 6 日（水） 10：00～11：00

●場所：Teamsオンライン

●議事：

- ・運営費の執行状況について、2025年 7 月15日までの契約実績額及び今後の発注予定を報告した。
- ・入場券の販売状況について報告を行った。

・委員からの主な発言は次のとおり。

- * お盆明けから来場日時予約制に入場券販売方法が変更することで買い控え等も懸念されるため、9 月の来場予約状況を示してほしい。
- * 閉幕を迎えるにあたって今後の広報計画について示してほしい。
- * 来場者が増加しており、営業施設利用やグッズ販売が好調に見受けられることから現状の収入見込を示してほしい。

※会議資料は一部抜粋

運営費の執行状況について（2025年7月15日）

(単位：億円)

執 行 項 目		契約済(2025年7月15日)		今後の予定		総合計	
		金額	前回報告以降の主な内容	前回比 (2025年5月末)	予定額		主な内容
会場管理費		355		12			
	会場運営管理・来客対応費	190	(変更契約) 万博IDユーザ対応業務、（変更契約）来場者サービス実施計画策定・実施運営委託業務、光熱水費支払い、ピアテラス整備・運営業務、（変更契約）関係者入場証発行・入退場管理システム構築等業務、（変更契約）救護隊運用業務、（変更契約）会場内清掃業務 ほか	10	119	・ 来場者サービス、会場清掃、医療スタッフ等に係る人件費 (変更契約、残業代の精算等) ・ 東西ゲート及び会場内の暑熱対策 ・ 賓客対応（皇室、ND・SD等） ・ ICT-PFデータ保存等 ・ ユスリカ対策、水質管理対策等 ・ 光熱水費の支払い ほか	474
	ICT関連費	165	(変更契約)入場券販売関連システムサービス提供業務、バーチャル会場上の外観修正業務、大学とのデータ分析共同研究契約 ほか	2			
事業運営費		124		4			
	共創事業費	27	ベストプラクティス記念イベント企画運営業務 ほか	2	39	・ 閉会式（ノンプロトコルパートの演出等） ・ 花火等追加イベント実施 ・ イベント施設等での暑熱対策 ・ 公式宿舍の環境整備等 ほか	163
	テーマ事業費	40	—	—			
	催事費	37	花火の実施に係る業務委託、休憩/催事施設内外装設備工事等及び運営管理業務、閉会式に係る実施計画策定及び管理運営業務 ほか	2			
	住宅・公式参加国関係費	20	賃貸借契約（守口宿舍）賃料、東喜連宿舍に係る備品調達 ほか	0			
営業関係費		84		2			
	広報宣伝費	28	総合コンタクトセンター業務、海外メディア対応支援業務、（変更契約）万博会場来場促進に向けたミャクミャクブランド強化事業 ほか	2	17	・ 入場券販売関連システム改善 ・ 万博公式WEBサイト改善 ・ ミャクミャクの追加出演 ほか	101
	入場券関係費	56	WEBメディアPR業務、団体・企業向け入場券の実績集計・請求書作成等に係るRPA導入 ほか	0			
輸送管理費		185	(変更契約) 夢洲交通ターミナル警備業務（配車アプリ車両の乗車場移設）、（変更契約）夢洲身障者駐車場等警備業務 ほか	0	25	・ 来場者輸送体制の改善 ・ 桜島シャトルバス対策（運行補助） ほか	210
管理関係費		144	消費税還付、職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	▲ 49	68	・ 消費税納付 ・ 職員人件費 ・ オフィス賃料 ほか	212
合 計		892		▲ 31	268		1,160

執行率(7月15日) **76.9%**

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わらうもの

※2 一部、内訳端数調整有